

大阪市の自殺の状況：
その推移と令和５年の現況

大阪市の自殺の状況:その推移と令和5年の現況 目次

1. 全国の自殺者数の推移	1	ページ
2. 全国の自殺死亡率の推移	2	ページ
3. 大阪市の自殺者数の推移	3	ページ
4. 大阪市の自殺死亡率の推移	4	ページ
5. 年齢別・男女別自殺者数	5	ページ
6. 原因別・男女別自殺者数	7	ページ
7. 職業別・男女別自殺者数	9	ページ
8. 既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数	11	ページ
9. 同居人の有無・男女別自殺者数	13	ページ
10. 場所別・男女別自殺者数	15	ページ
11. 手段別・男女別自殺者数	17	ページ
12. 曜日別・男女別自殺者数	19	ページ
13. 発見時間帯別・男女別自殺者数	21	ページ

※1から4については人口動態統計(H15～R5)により作成

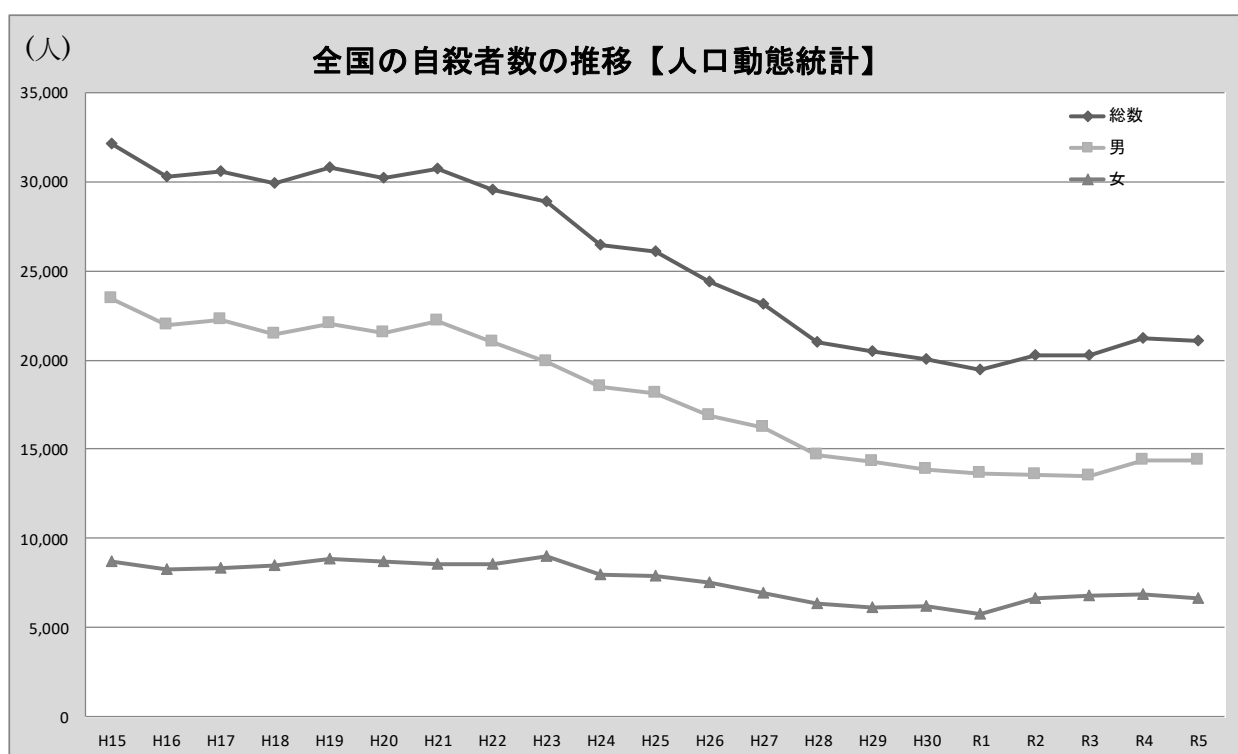
※5から13については厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・住居地で集計された資料)により作成

1. 全国の自殺者数の推移（人口動態統計：H15～R5）

男女総計：自殺死亡者数は、昭和 55 年（1980 年）以降概ね年間 2 万人から 2 万 5 千人の間で推移していたが、平成 10 年（1998 年）に急増し、戦後初めて 3 万人（31,755 人）を超えた。その後も増減しながら平成 21 年までは概ね年間 3 万人前後で推移し、平成 23 年以降は減少傾向を維持し、平成 27 年には急増前の平成 9 年を下回るまで減少したが、令和 2 年に増加に転じ 2 万人台となっている。

男性：平成 10 年以降では、男性の自殺死亡数は女性のほぼ 2～3 倍で推移しており、男女総計の自殺死亡の傾向は男性の傾向とほぼ同様となっている。

女性：平成 10 年に 9 千人台に増加したが、平成 12 年以降は 8 千人台で推移し、男性と同様に平成 23 年以降は一貫して減少傾向を維持しており、平成 27 年以降は急増前の平成 9 年の 7 千人台を下回る 6 千人台まで減少し、令和元年には 5 千人台まで減少したが、令和 2 年以降は 6 千人台に増加した。



全国の自殺者数の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017	20,465	20,031	19,425	20,243	20,291	21,252	21,037
男	23,396	21,955	22,236	21,419	22,007	21,546	22,189	21,028	19,904	18,485	18,158	16,875	16,202	14,639	14,333	13,851	13,668	13,588	13,508	14,362	14,388
女	8,713	8,292	8,317	8,502	8,820	8,683	8,518	8,526	8,992	7,948	7,905	7,542	6,950	6,378	6,132	6,180	5,757	6,655	6,783	6,890	6,649

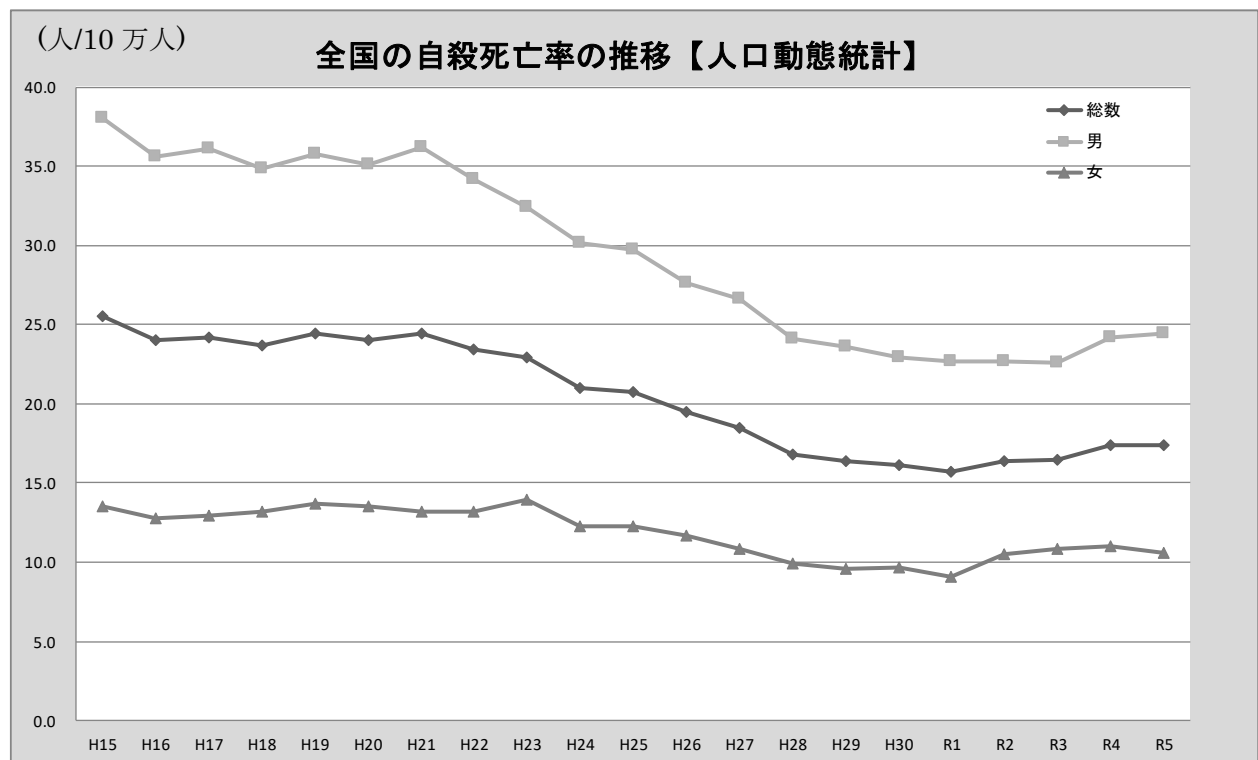
資料：「人口動態統計」より

2. 全国の自殺死亡率の推移（人口動態統計：H15～R5）

男女総計：傾向は自殺死亡者数と同様であり、昭和 55 年（1980 年）以降は増加した年でも人口 10 万人当たり（以下単位同様）22 未満で推移していたが、平成 10 年（1998 年）に急増し（25.4）、その後増減しながら平成 22 年までは概ね 23～24 台で推移し、平成 23 年以降は減少傾向を維持している。平成 27 年に急増前の平成 9 年（18.8）を下回るまで減少しその後も減少が続いていたが、令和 2 年に増加に転じた。平成 15 年から令和 5 年の減少率は 31.8%となっている。

男性：平成 10 年以降では、男性の自殺死亡率は女性のほぼ 2～3 倍で推移しており、男女総計の自殺死亡率の傾向は男性のそれとほぼ同様となっている。平成 15 年から令和 5 年の減少率は 35.8%となっている。

女性：平成 10 年に増加したものの、平成 12 年以降は 12～13 台で推移し、男性と同様に平成 23 年以降は減少傾向を維持しており、平成 26 年以降は急増前の平成 9 年（11.9）を下回り平成 28 年以降は一桁台を維持していたが、令和 2 年に増加に転じ二桁台となった。平成 15 年から令和 5 年の減少率は 21.5%となっている。



全国の自殺死亡率の推移																					
年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数	25.5	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.4
男	38.0	35.6	36.1	34.8	35.8	35.1	36.2	34.2	32.4	30.1	29.7	27.6	26.6	24.1	23.6	22.9	22.7	22.7	22.6	24.2	24.4
女	13.5	12.8	12.9	13.2	13.7	13.5	13.2	13.2	13.9	12.3	12.3	11.7	10.8	9.9	9.6	9.7	9.1	10.5	10.8	11.0	10.6

資料：「人口動態統計」より

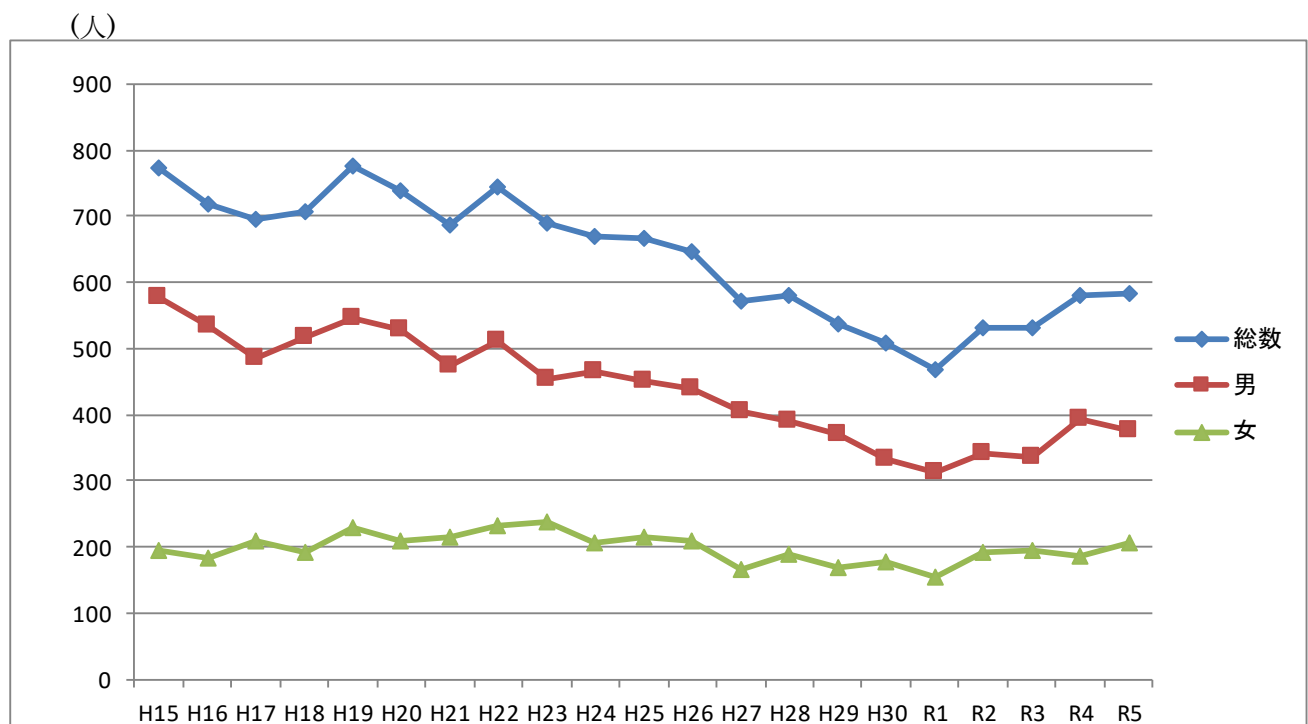
3. 大阪市の自殺者数の推移（人口動態統計：H15～R5）

男女総計：全国の傾向と同様に、平成9年の525人から平成10年に年間876人と急増したが、平成11年から全国に先駆けて減少し始めた。その後、全国の自殺死亡数は平成21年まではほぼ横ばいであったのに対して、大阪市の自殺死亡数は平成17年には、一旦年間700人を下回り、その後微増と微減を繰り返しながら、平成22年まではほぼ横ばいに経過した。平成23年以降は、全国値の傾向と同様に減少傾向を維持し700人未満となり、平成30年には急増する前の平成9年を下回り、令和元年には460人台まで減少したが、令和2年以降は増加に転じ、500人台となっている。

男性：男女総計とほぼ同様の傾向となっている。

女性：平成9年から平成10年に増加したものの、以降は200人前後の横ばいで推移していた。平成17年からは増加傾向に転じ、平成23年までは230人台となる年も続いた。平成27年以降は200人未満で増減していたが、令和5年は増加に転じ、9年ぶりに200人台となっている。

大阪市の自殺者数の推移（人口動態統計）



自殺者数の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数	773	719	696	708	776	738	688	744	691	671	667	647	573	580	537	509	469	532	532	579	583
男	578	535	486	517	546	529	473	512	454	464	452	439	406	391	369	332	314	341	337	392	377
女	195	184	210	191	230	209	215	232	237	207	215	208	167	189	168	177	155	191	195	187	206

資料：「人口動態統計」より

4. 大阪市の自殺死亡率の推移（人口動態統計：H15～R5）

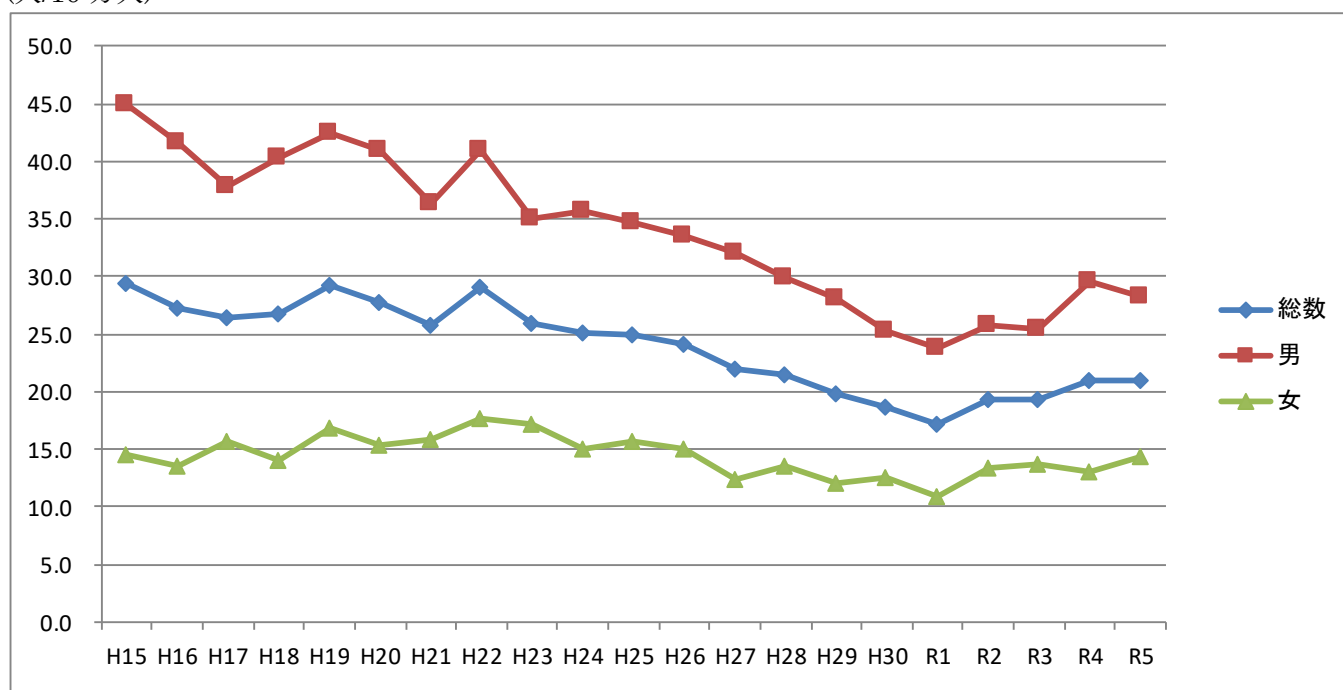
男女総計：全国の傾向と同様に平成 10 年に急増したが、平成 12 年から全国に先駆けて減少し始めた。その後、全国の自殺死亡率は平成 21 年まで微減であったのに対して、大阪市の自殺死亡率は平成 17 年には、平成 10 年の値の 20%減少となった。その後微増と微減を繰り返しながら、平成 22 年まではほぼ横ばいに経過したが、平成 23 年以降は全国値の傾向と同様に減少傾向を維持し、令和元年には急増前の平成 9 年よりも低い 17.1 となったが、令和 2 年に増加に転じ 19.3 となり、令和 4 年以降にはさらに増加に転じ 21.0 となった。また、平成 15 年から令和 5 年の減少率は 28.6%となっている。

男性：男女総計とほぼ同様の傾向となっている。

女性：令和 5 年は増加している。

大阪市の自殺死亡率の推移（人口動態統計）

（人/10 万人）



自殺死亡率の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数	29.4	27.3	26.5	26.8	29.3	27.8	25.8	29.0	25.9	25.1	24.9	24.1	22.0	21.5	19.8	18.7	17.1	19.3	19.3	21.0	21.0
男	45.0	41.6	37.9	40.3	42.4	40.9	36.4	41.0	35.0	35.7	34.7	33.5	32.1	29.9	28.1	25.2	23.8	25.7	25.4	29.5	28.3
女	14.5	13.6	15.6	14.1	16.9	15.4	15.8	17.6	17.2	15.0	15.6	15.0	12.4	13.5	12.0	12.6	10.9	13.4	13.7	13.1	14.3

資料：「人口動態統計」より

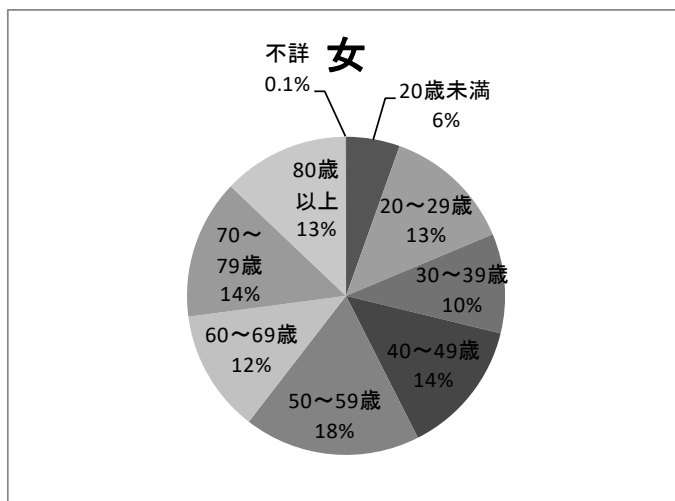
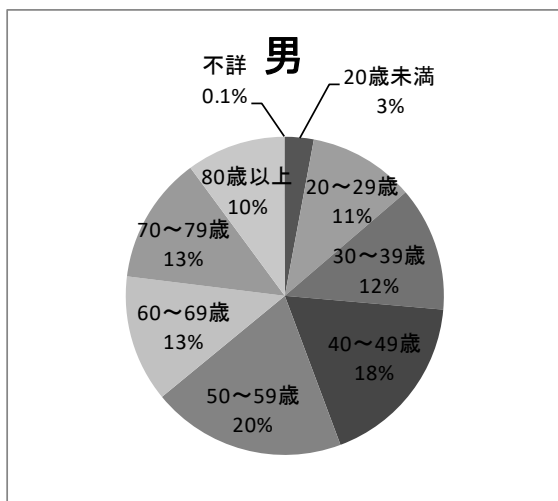
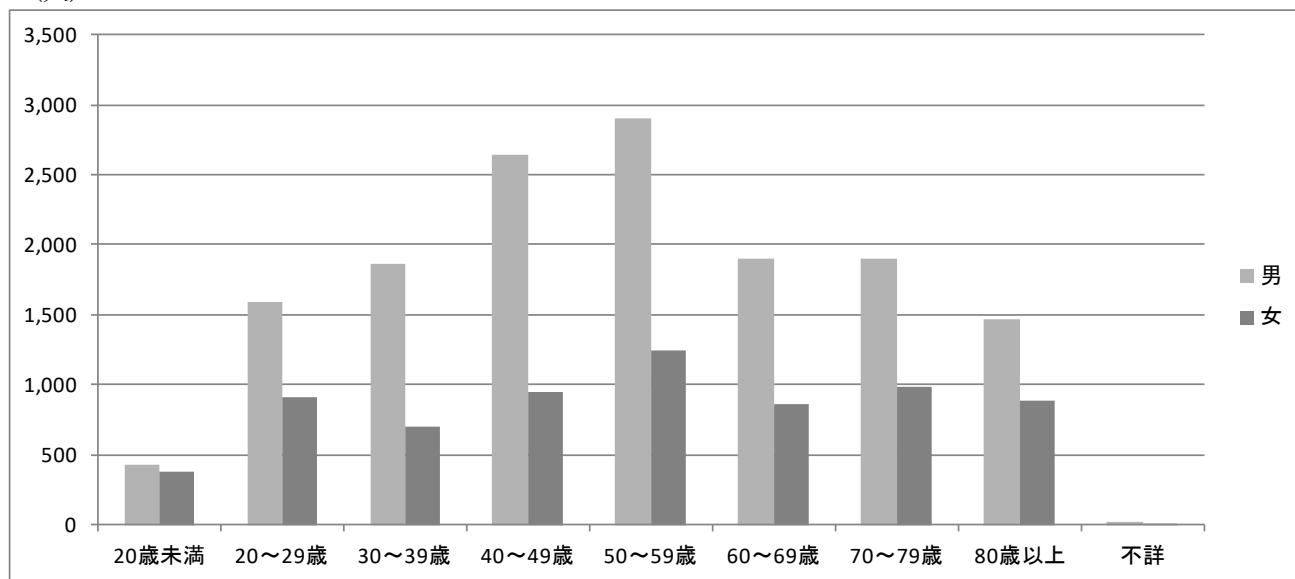
5-1. 年齢別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

令和5年の全国の自殺者数 21,657 人（男性 14,725 人（68%）、女性 6,932 人（32%））を年齢別にみると、50 歳代が最も多く 4,150 人（19%）、次いで 40 歳代 3,592 人（17%）、70 歳代 2,887 人（13%）となっている。

男性では 50 歳代、40 歳代、70 歳代の順に多く、女性では 50 歳代、70 歳代、40 歳代の順に多くなっている。

令和5年 年齢別・男女別の自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

（人）



年齢別男女別

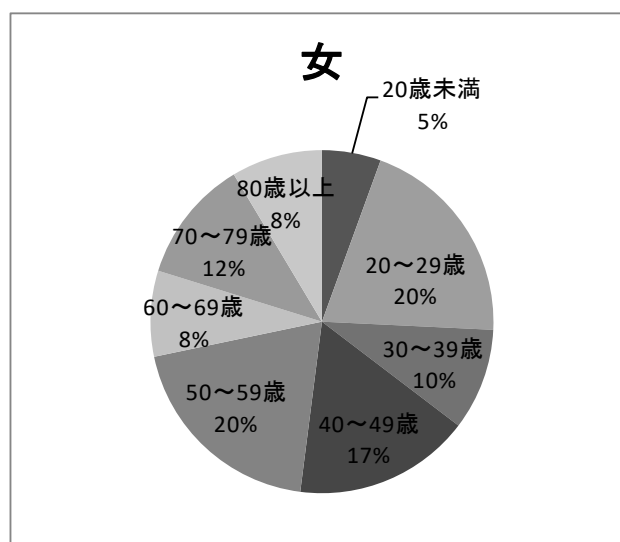
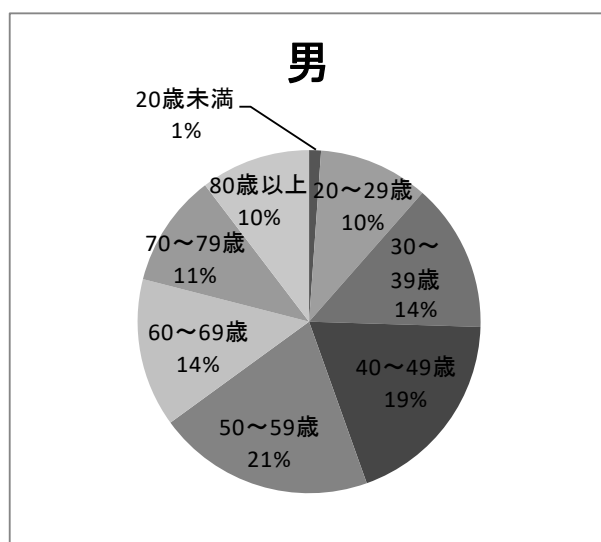
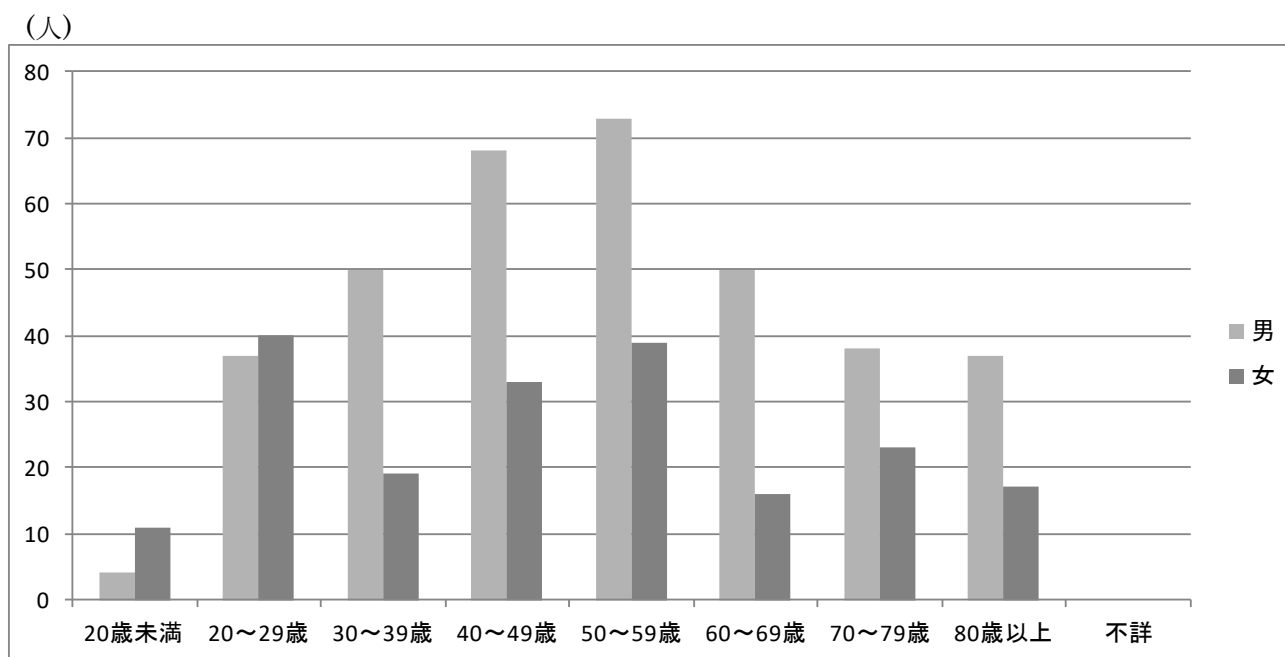
年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳	計
計	810	2,505	2,566	3,592	4,150	2,763	2,887	2,359	25	21,657
男	431	1,589	1,865	2,639	2,907	1,901	1,904	1,470	19	14,725
女	379	916	701	953	1,243	862	983	889	6	6,932

5-2. 年齢別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

令和5年の本市の自殺者数 555 人（男性 357 人（64%）、女性 198 人（36%））を年齢別にみると、50 歳代が最も多く 112 人（20%）、次いで 40 歳代 101 人（18%）、20 歳代 77 人（14%）となっている。

男性では 50 歳代、40 歳代、30 歳代及び 60 歳代の順に多く、女性では 20 歳代、50 歳代、40 歳代の順に多くなっている。

令和5年 年齢別・男女別の自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



年齢別男女別

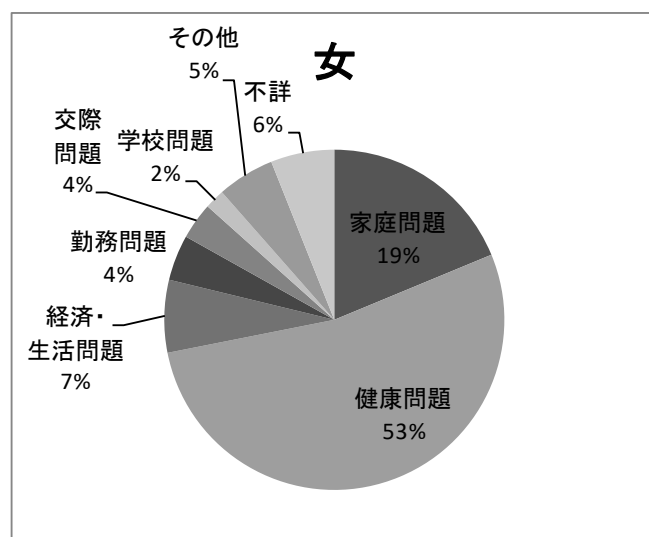
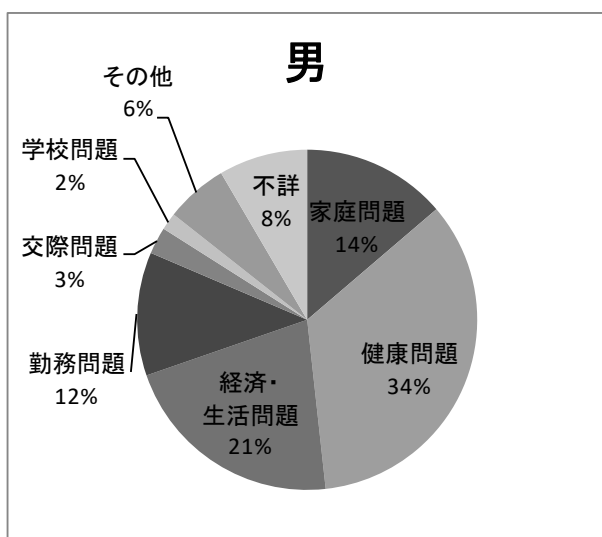
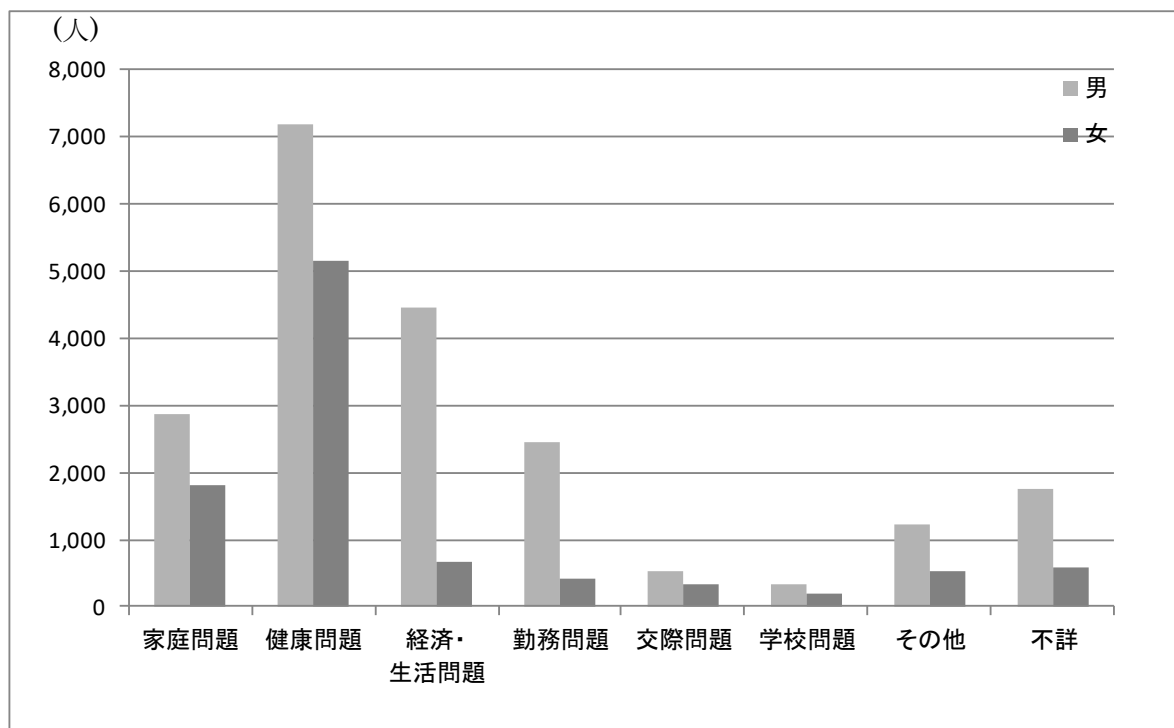
年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳	計
計	15	77	69	101	112	66	61	54	0	555
男	4	37	50	68	73	50	38	37	0	357
女	11	40	19	33	39	16	23	17	0	198

6-1. 原因別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国 （遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を、自殺者一人につき3つまで計上可能としている。）

自殺の原因・動機としては、「健康問題」が12,339人（40％）と最も多く、次いで「経済・生活問題」5,127人（17％）、「家庭問題」4,678人（15％）となっている。

男女別でみると、男女とも「健康問題」が最も多く、次に男性は「経済・生活問題」が多いのに対し、女性は「家庭問題」が多くなっている。

令和5年 原因別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



原因別・男女別

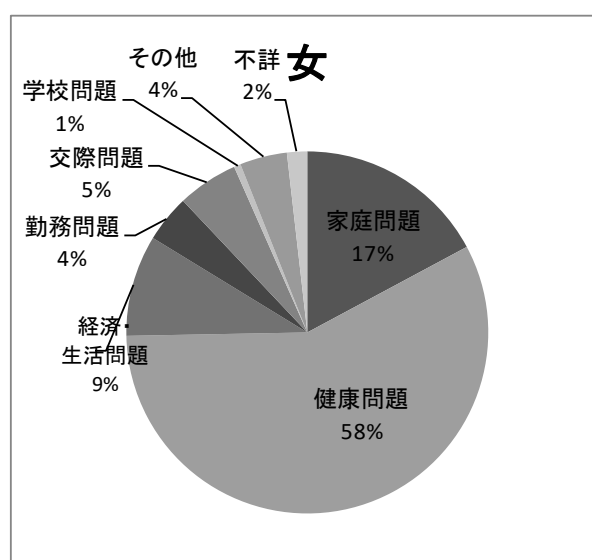
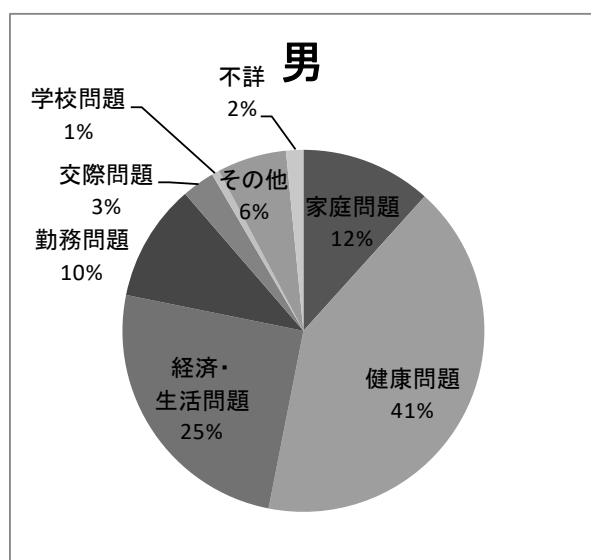
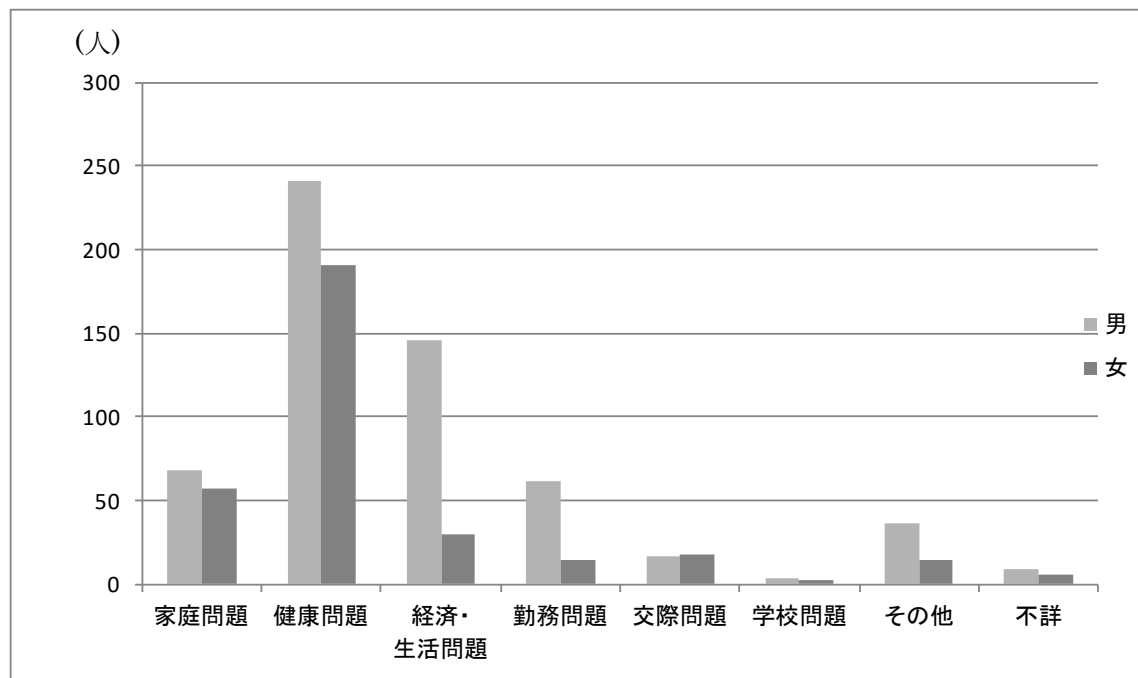
原因	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳	計
計	4,678	12,339	5,127	2,860	872	524	1,761	2,344	30,505
男	2,857	7,179	4,457	2,439	533	340	1,232	1,757	20,794
女	1,821	5,160	670	421	339	184	529	587	9,711

6-2. 原因別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市 （遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を、自殺者一人につき3つまで計上可能としている。）

自殺の原因・動機としては、「健康問題」が432人（47％）と最も多く、次いで「経済・生活問題」176人（19％）、「家庭問題」125人（14％）となっている。

男女別でみると、男女とも「健康問題」が最も多く、次に男性は「経済・生活問題」が多いのに対し、女性は「家庭問題」が多くなっている。

令和5年 原因別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



原因別・男女別

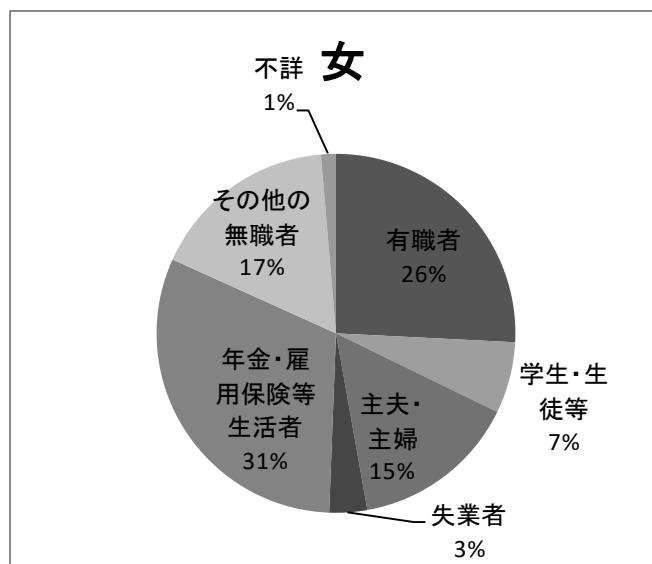
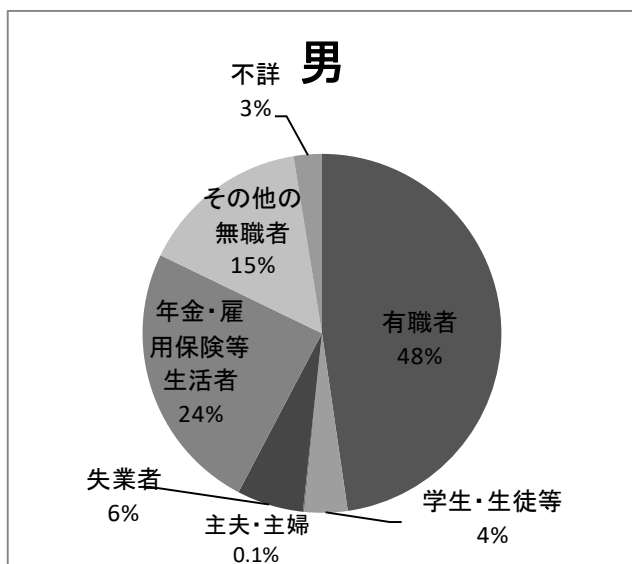
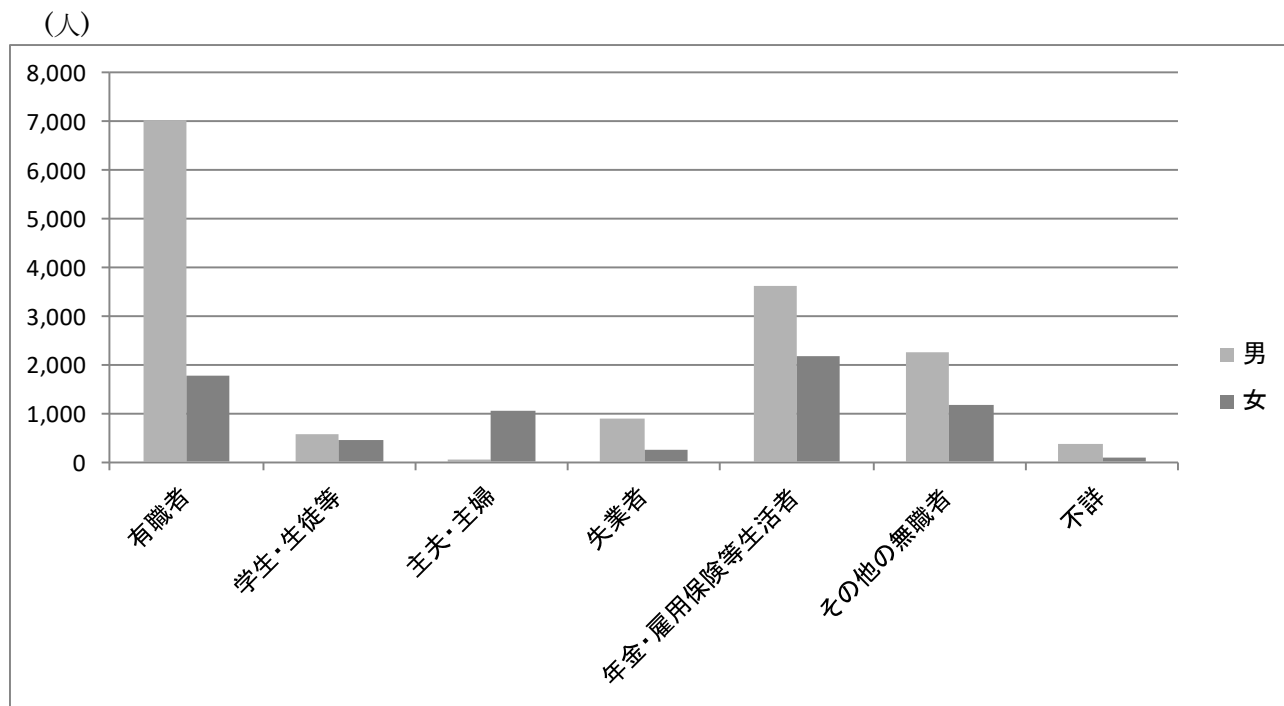
原因	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳	計
計	125	432	176	75	35	6	50	15	914
男	68	241	146	61	17	4	36	9	582
女	57	191	30	14	18	2	14	6	332

7-1. 職業別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

職業別でみると「有職者」が8,812人（41%）と最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が5,761人（27%）、「その他の無職者」3,423人（16%）となっている。

男女別では、男性では「有職者」が最も多く、女性では「年金・雇用保険等生活者」の割合が最も多くなっている。

令和5年 職業別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



職業別・男女別

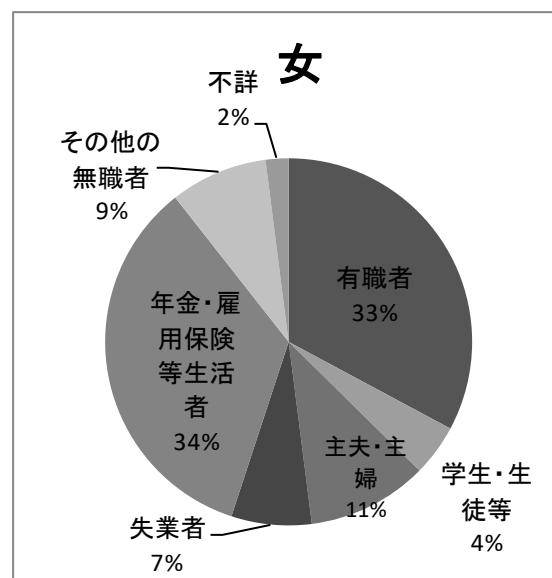
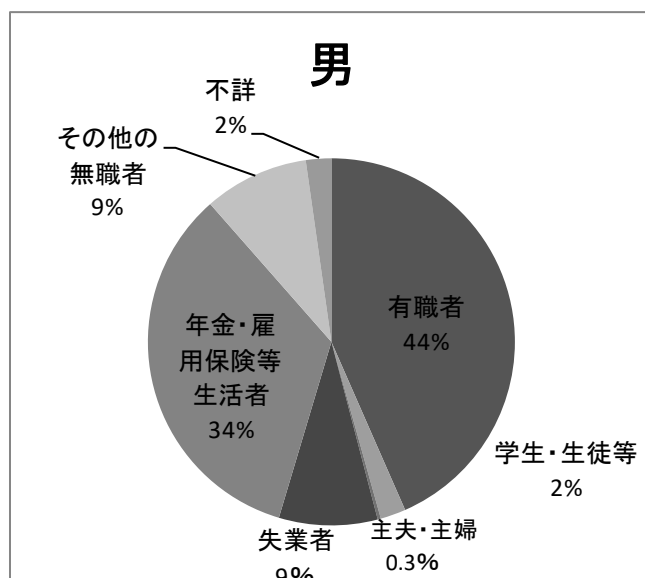
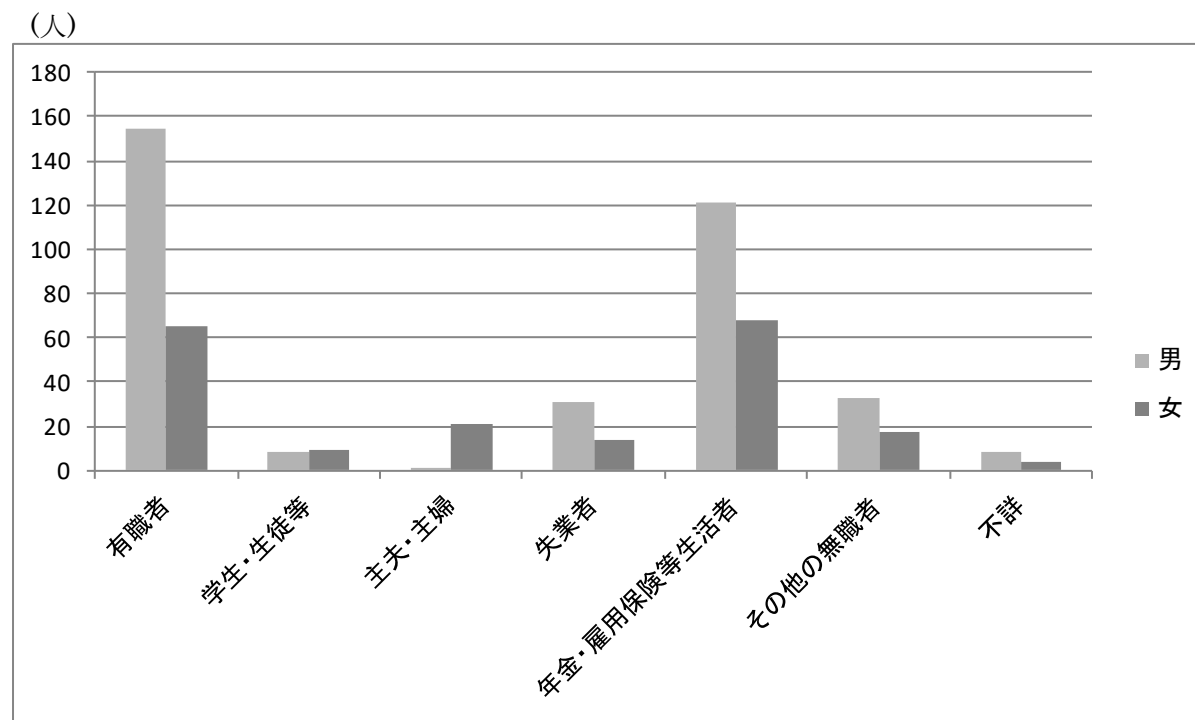
職業	有職者	学生・生徒等	主夫・主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳	計
計	8,812	1,017	1,056	1,120	5,761	3,423	468	21,657
男	7,024	572	17	884	3,602	2,251	375	14,725
女	1,788	445	1,039	236	2,159	1,172	93	6,932

7-2. 職業別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

職業別でみると「有職者」が220人（40%）と最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が189人（34%）、「その他の無職者」が50人（9%）となっている。

男女別では、男性では「有職者」、女性では「年金・雇用保険等生活者」の割合が最も多くなっている。

令和5年 職業別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



職業別・男女別

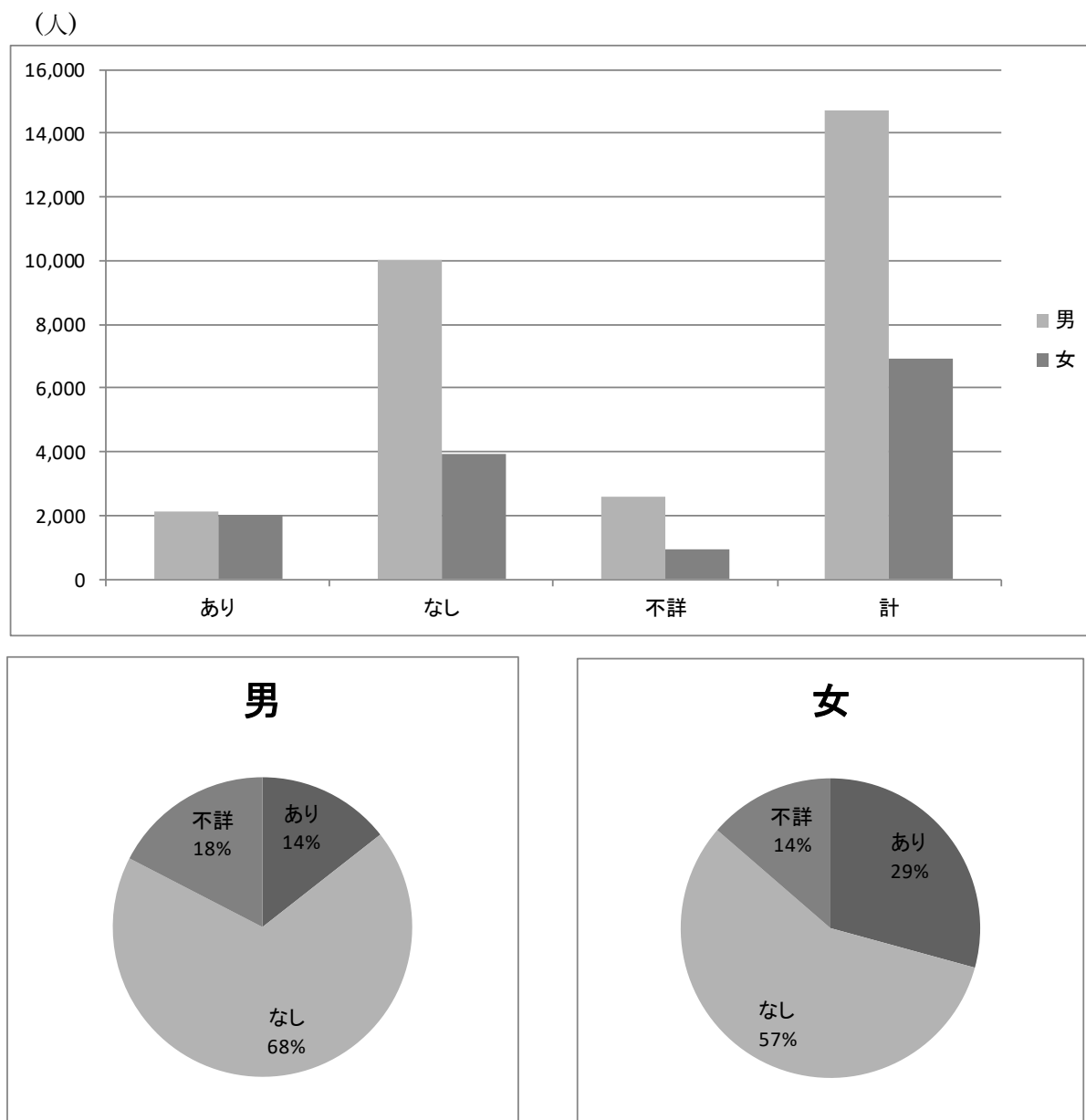
職業	有職者	学生・生徒等	主夫・主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳	計
計	220	17	22	45	189	50	12	555
男	155	8	1	31	121	33	8	357
女	65	9	21	14	68	17	4	198

8-1. 既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

既遂者における自殺未遂の有無別については、自殺未遂歴「あり」が4,151人（19%）であった。

男女別でみると、男性の自殺未遂歴「あり」が2,123人（14%）、女性の自殺未遂歴「あり」が2,028人（29%）であった。

令和5年 既遂者における自殺未遂の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



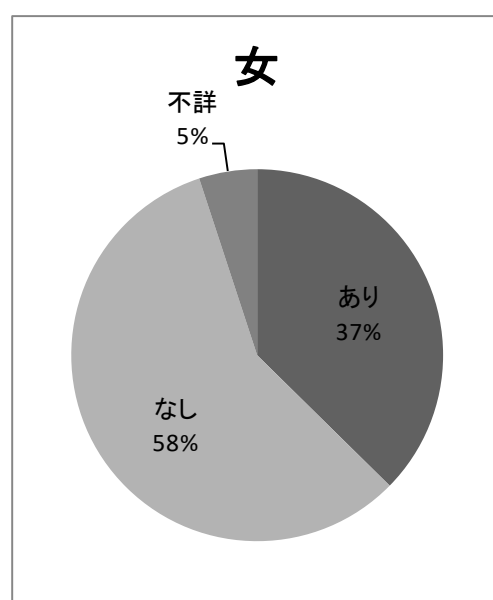
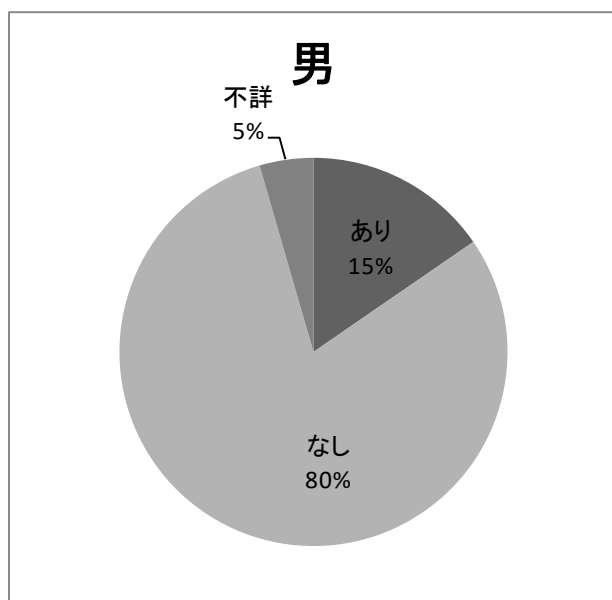
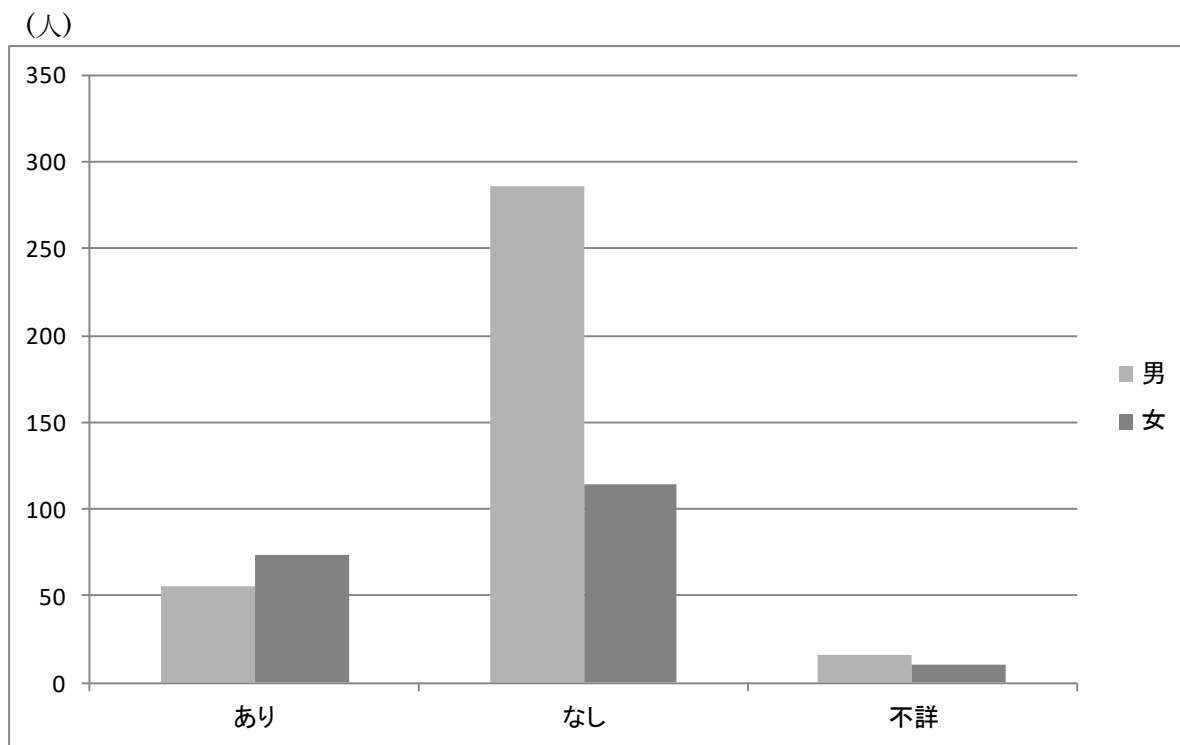
既遂者における自殺未遂の有無・男女別

自殺未遂	あり	なし	不詳	計
計	4,151	13,995	3,511	21,657
男	2,123	10,037	2,565	14,725
女	2,028	3,958	946	6,932

8－2. 既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

既遂者における自殺未遂の有無別については、自殺未遂歴「あり」が129人（23％）であった。
男女別でみると、男性の自殺未遂歴「あり」が55人（15％）、女性の自殺未遂歴「あり」が74人（37％）であった。

令和5年 既遂者における自殺未遂の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）



既遂者における自殺未遂の有無・男女別

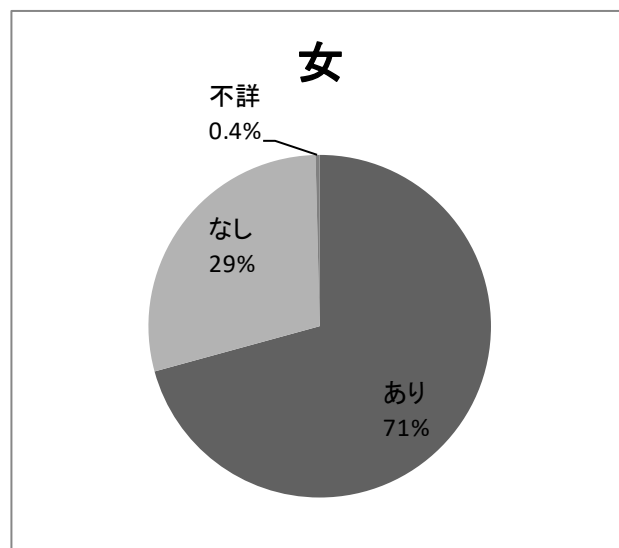
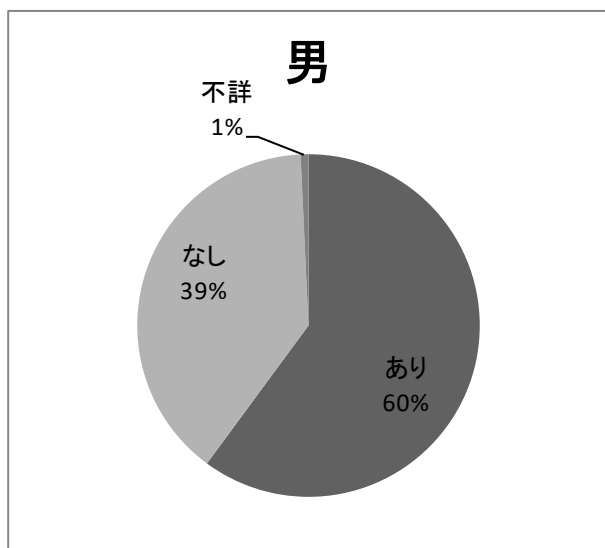
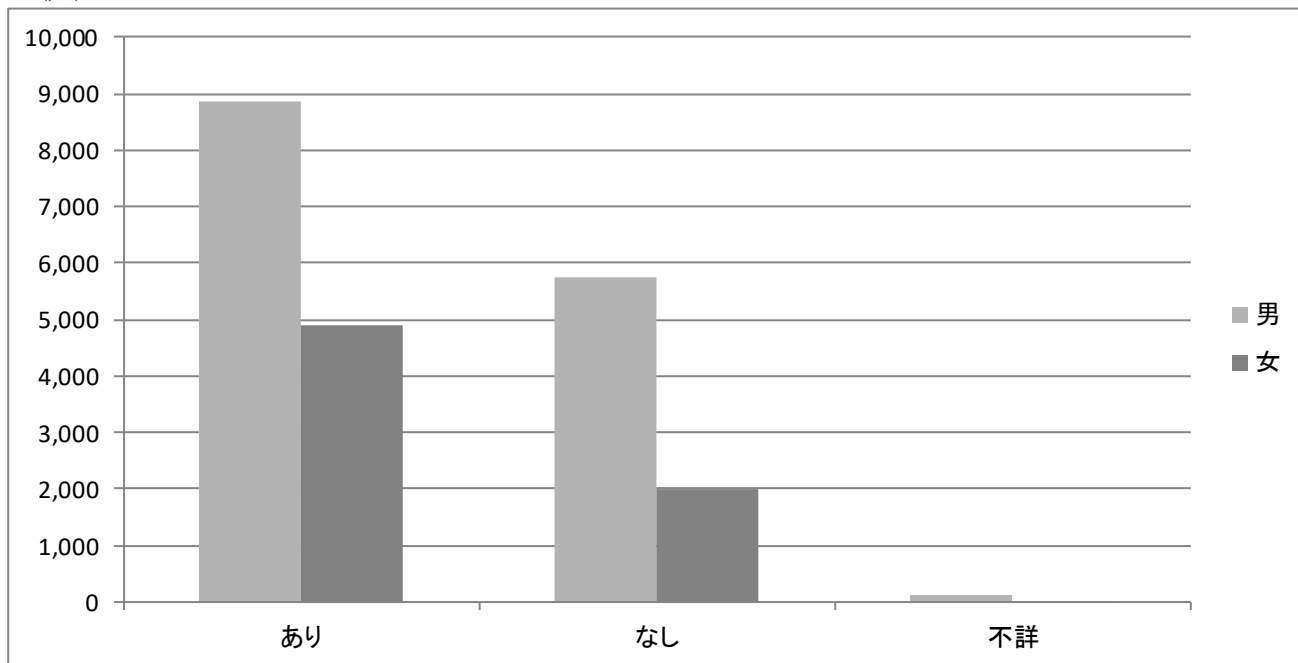
自殺未遂	あり	なし	不詳	計
計	129	400	26	555
男	55	286	16	357
女	74	114	10	198

9-1. 同居人の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

同居人の有無別でみると、「同居人あり」が13,755人（64%）、「同居人なし」が7,766人（36%）となっている。男女別でみると、男女とも「同居人あり」の方が多くなっている。

令和5年 同居人の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

（人）



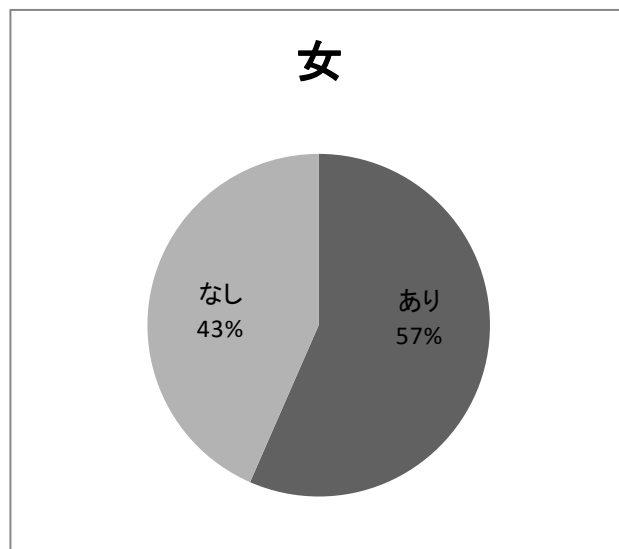
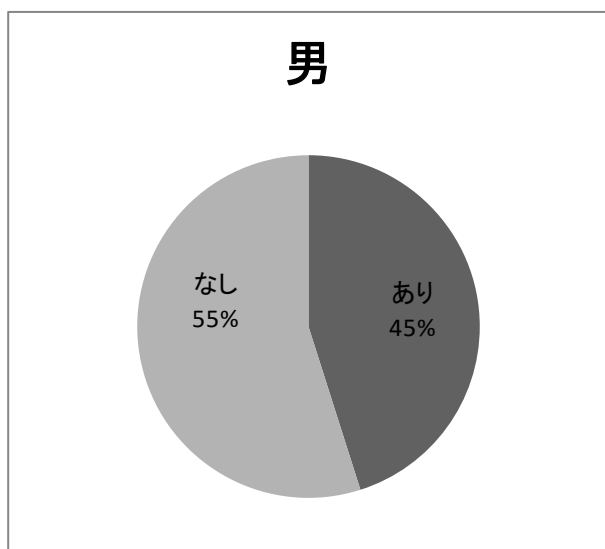
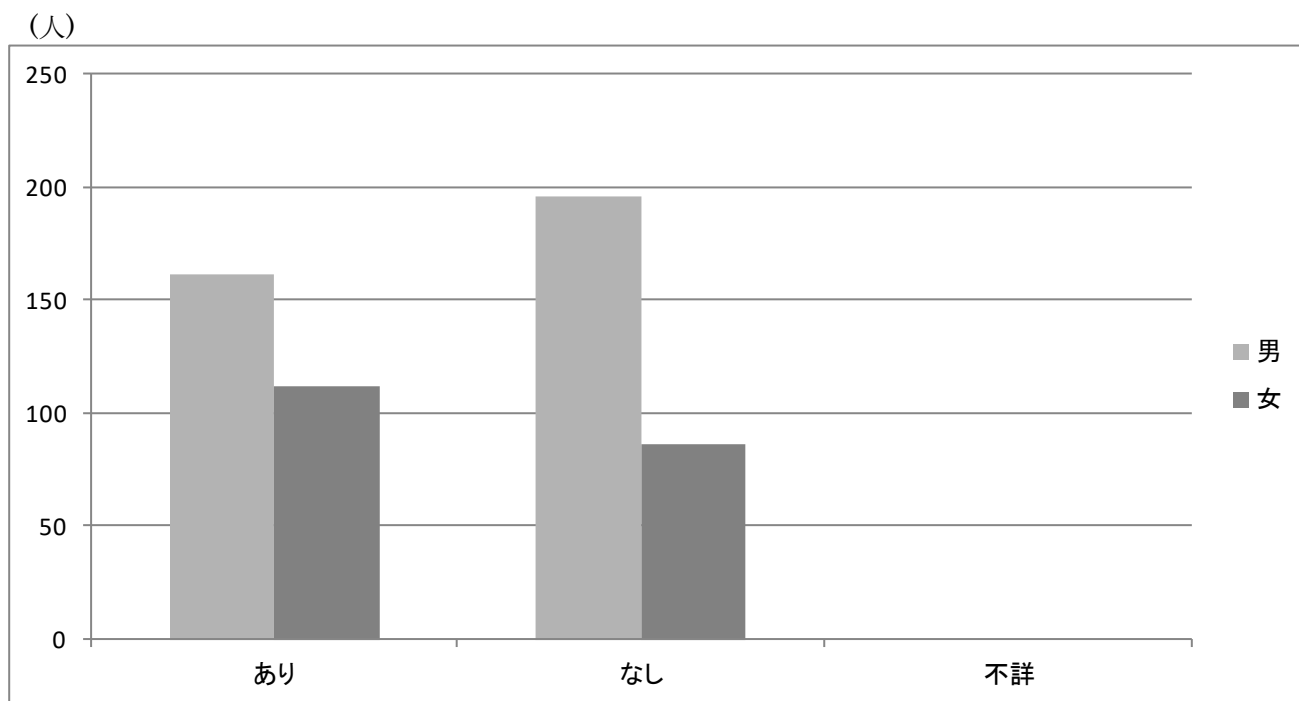
同居人の有無・男女別

同居人	あり	なし	不詳	計
計	13,755	7,766	136	21,657
男	8,851	5,765	109	14,725
女	4,904	2,001	27	6,932

9-2. 同居人の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

同居人の有無別でみると、「同居人あり」が273人（49%）、「同居人なし」が282人（51%）となっている。男女別でみると、男性は「同居人なし」の方が多く、女性は「同居人あり」の方が多い。

令和5年 同居人の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



同居人の有無・男女別

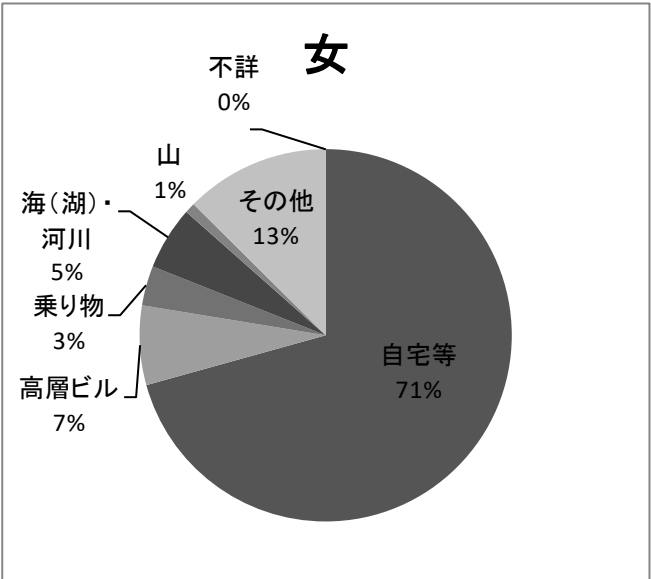
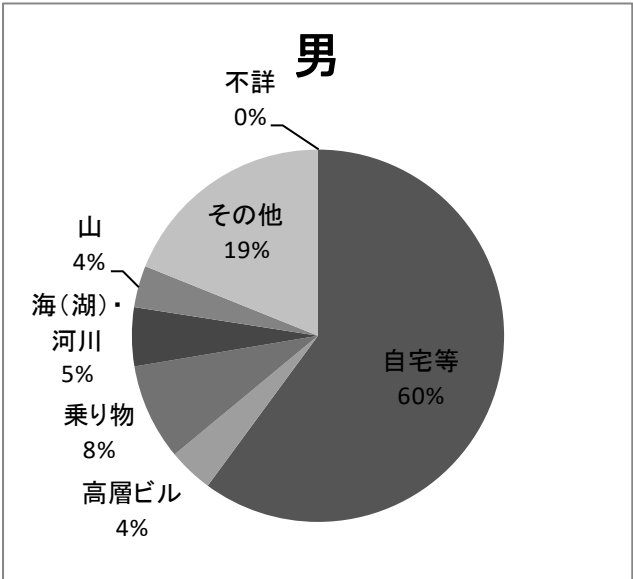
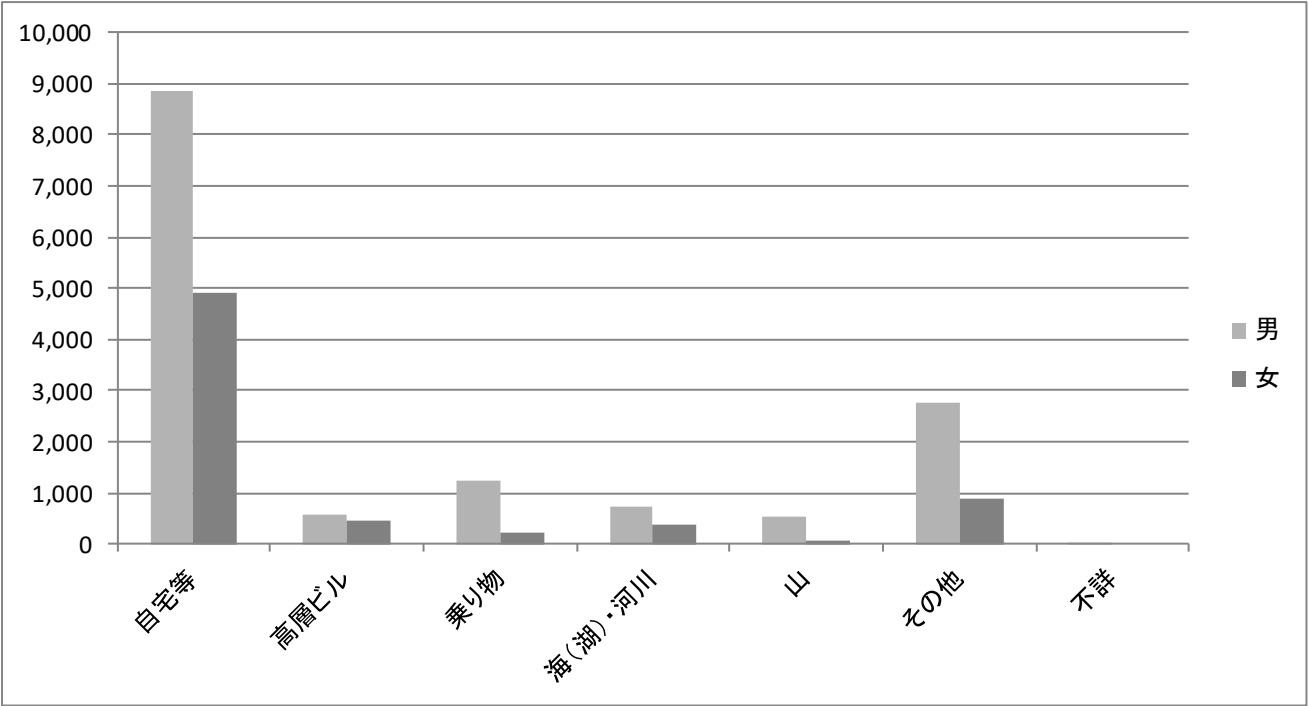
同居人	あり	なし	不詳	計
計	273	282	0	555
男	161	196	0	357
女	112	86	0	198

10－ 1. 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

場所別でみると、男女ともに「自宅等」が最も多く、次に男性は「乗り物」が多いのに対し、女性は「高層ビル」が多い。

令和5年 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

(人)



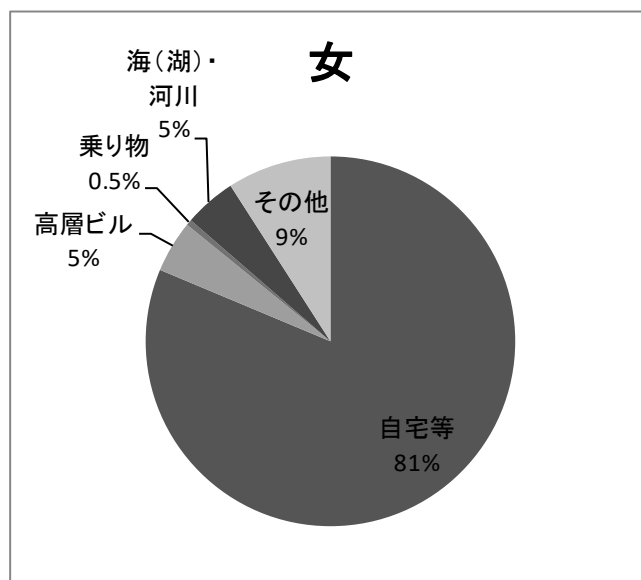
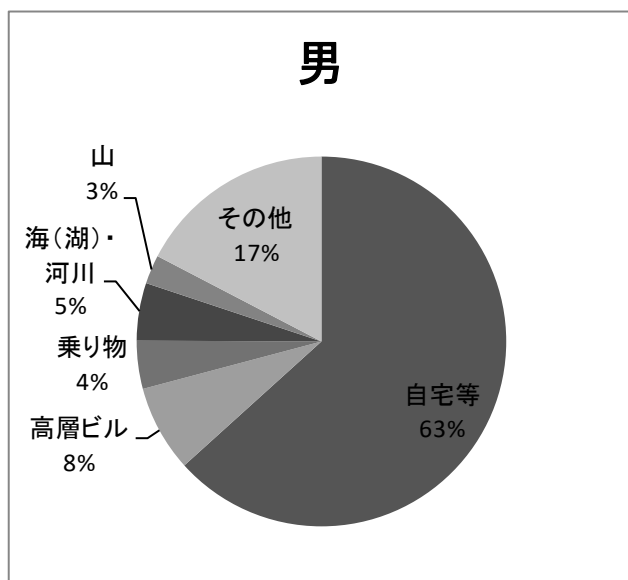
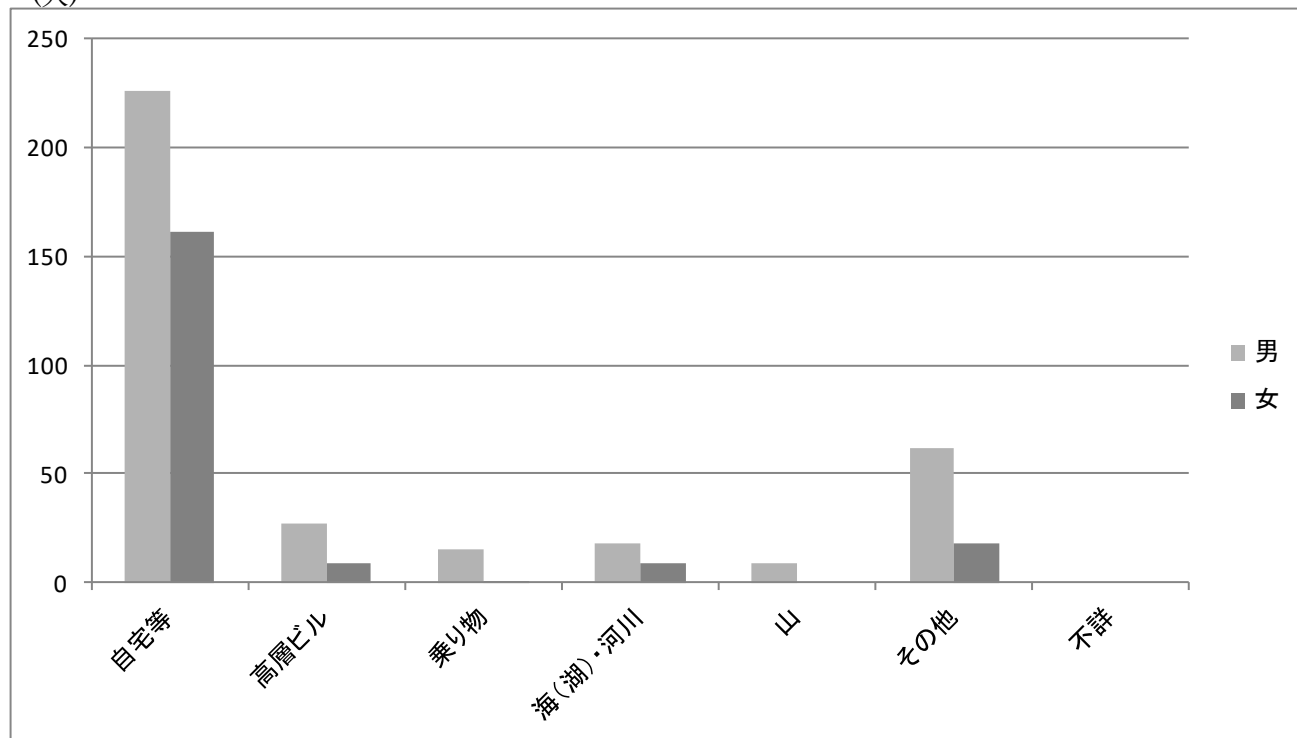
場所別・男女別自殺者数

場所	自宅等	高層ビル	乗り物	海(湖)・河川	山	その他	不詳	計
計	13,749	1,053	1,470	1,132	597	3,655	1	21,657
男	8,849	575	1,231	751	534	2,784	1	14,725
女	4,900	478	239	381	63	871	0	6,932

10-2. 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

場所別でみると、男女ともに「自宅等」が最も多く、次に男性は「高層ビル」が多く、女性は「高層ビル」及び「湖・河川」が多い。

令和5年 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市
(人)



場所別・男女別自殺者数

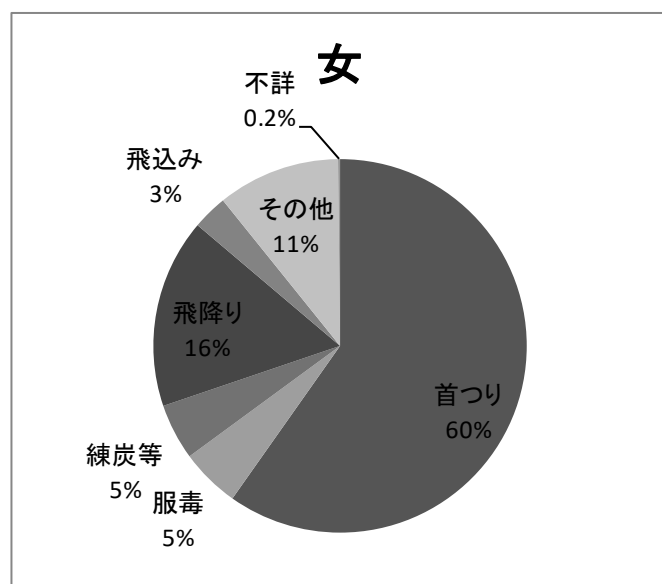
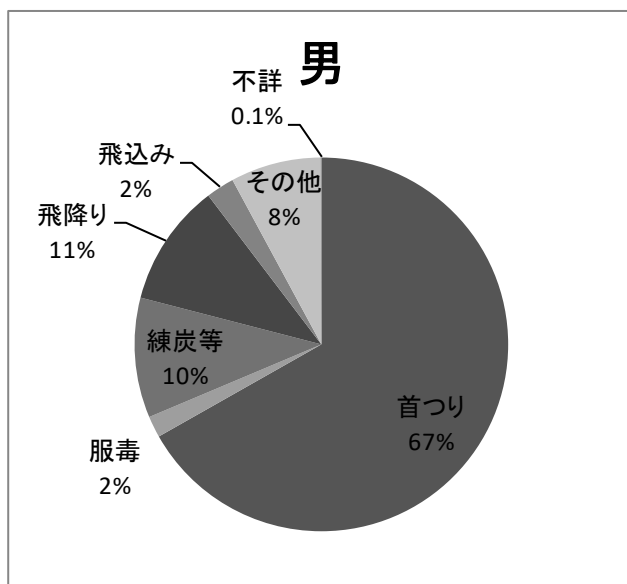
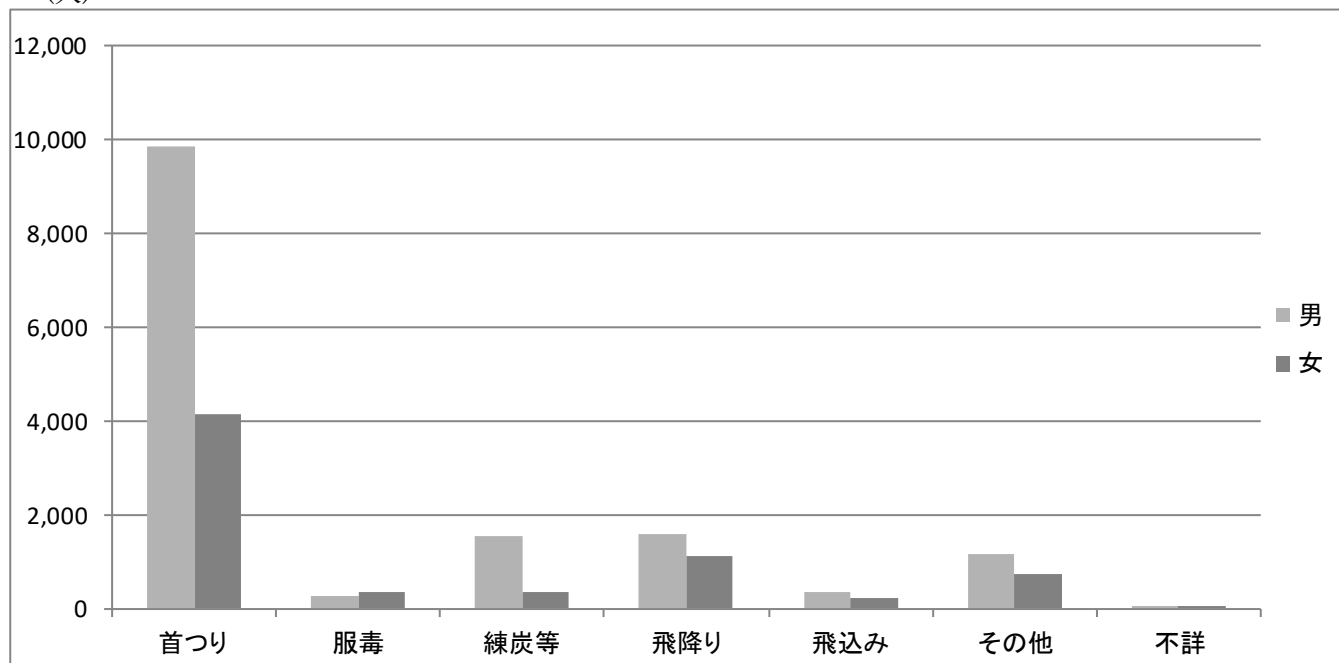
場所	自宅等	高層ビル	乗り物	海(湖)・河川	山	その他	不詳	計
計	387	36	16	27	9	80	0	555
男	226	27	15	18	9	62	0	357
女	161	9	1	9	0	18	0	198

11－１．手段別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

手段別でみると、「首つり」が最も多く、次いで「飛降り」となっている。男女別でも同様となっている。

令和5年 手段別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・全国

(人)



手段別・男女別自殺者数

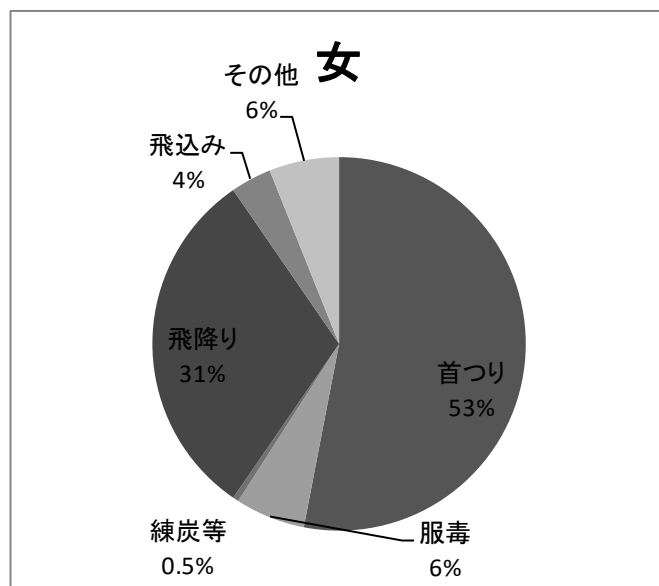
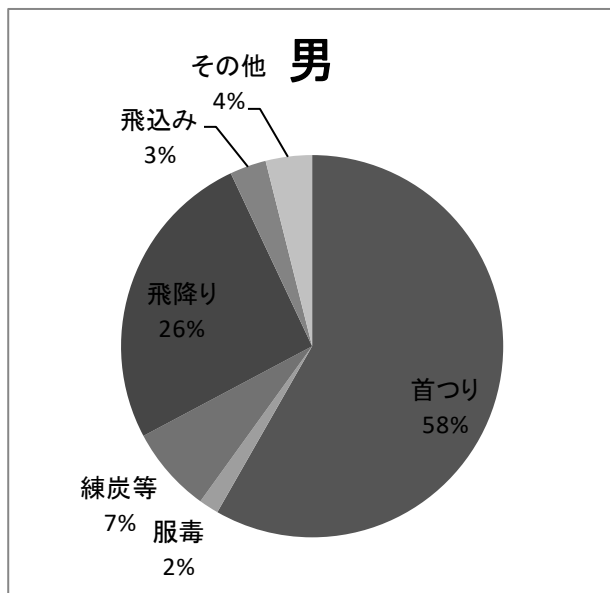
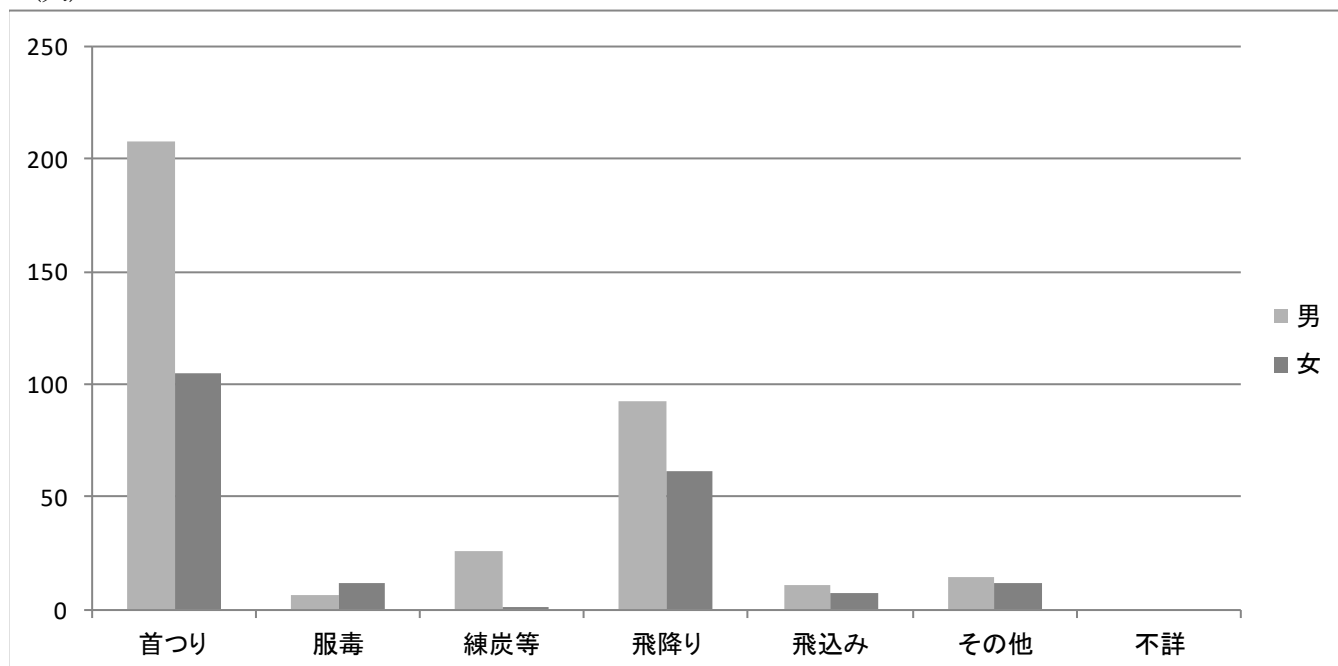
手段	首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳	計
計	13,980	630	1,865	2,701	571	1,886	24	21,657
男	9,836	273	1,528	1,565	361	1,150	12	14,725
女	4,144	357	337	1,136	210	736	12	6,932

11－２．手段別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

手段別でみると、「首つり」が最も多く、次いで「飛降り」となっている。男女別でも同様となっている。

令和5年 手段別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

(人)



手段別・男女別自殺者数

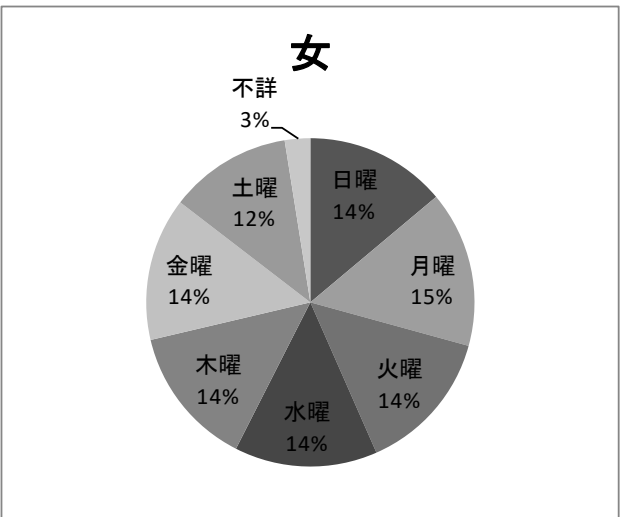
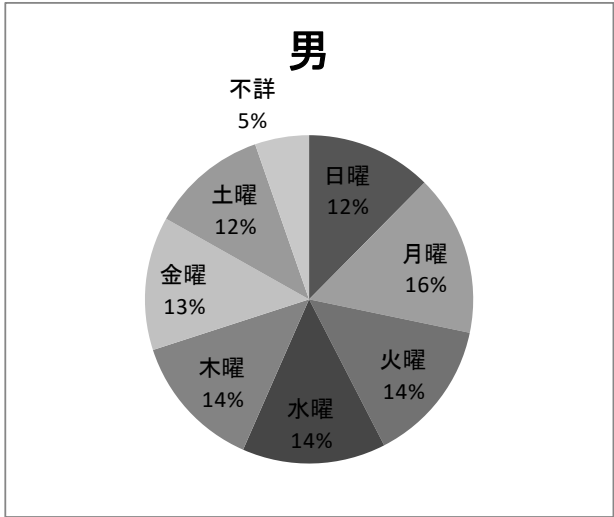
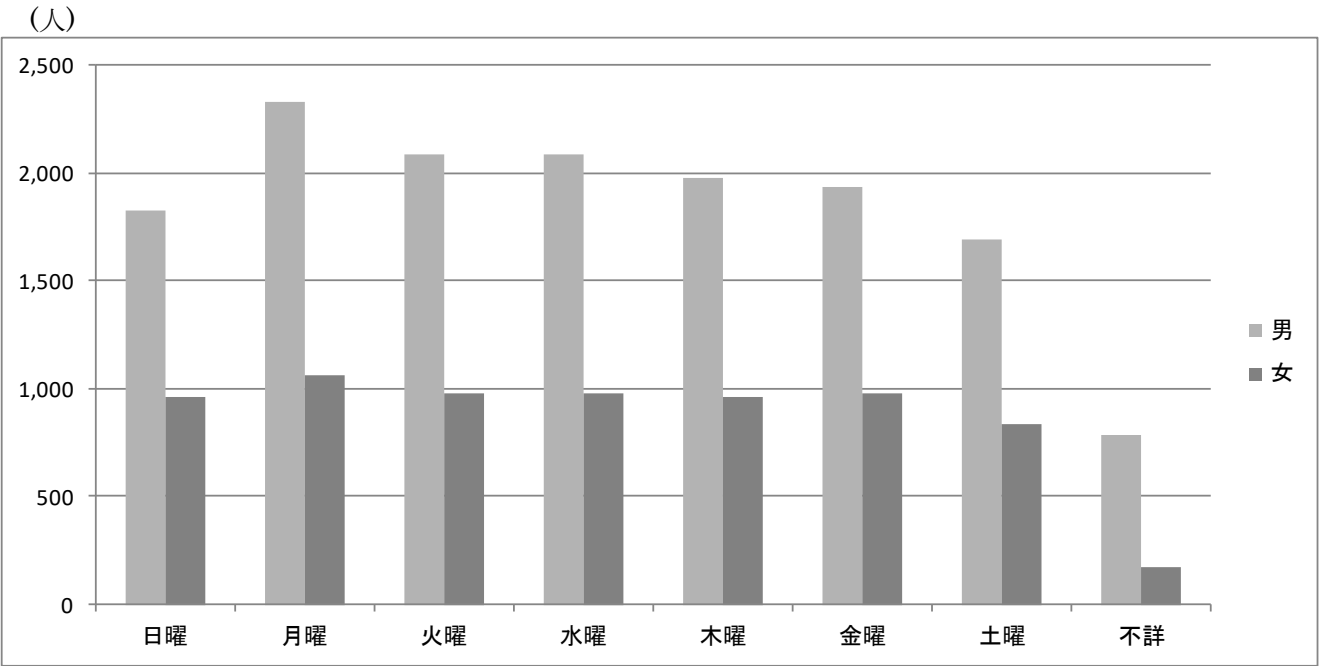
手段	首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳	計
計	313	18	27	153	18	26	0	555
男	208	6	26	92	11	14	0	357
女	105	12	1	61	7	12	0	198

12－ 1. 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

曜日別でみると、「月曜日」が3,400人（16％）と最も多く、次いで「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」となっている。

男女別でみると、男性は「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」の順に、女性は「月曜日」、「火曜日」、「金曜日」の順に多くなっている。

令和5年 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



曜日別・男女別自殺者数

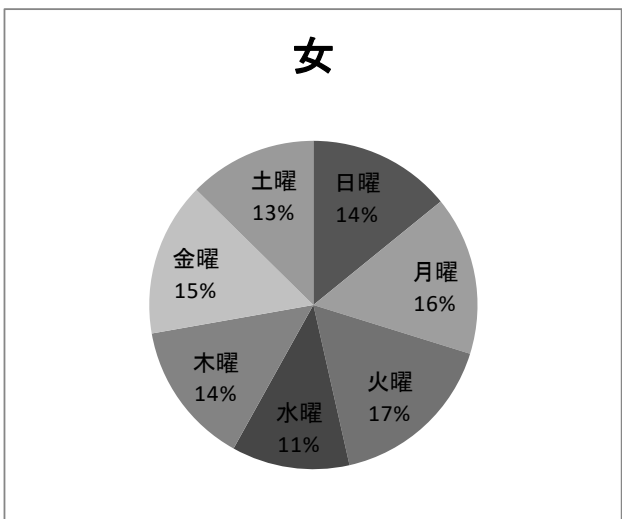
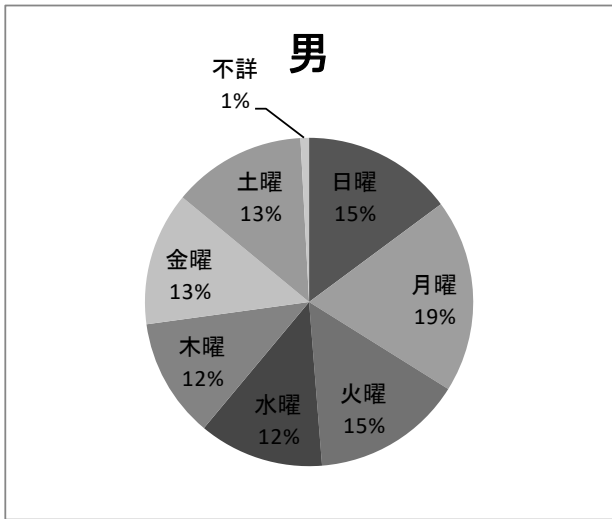
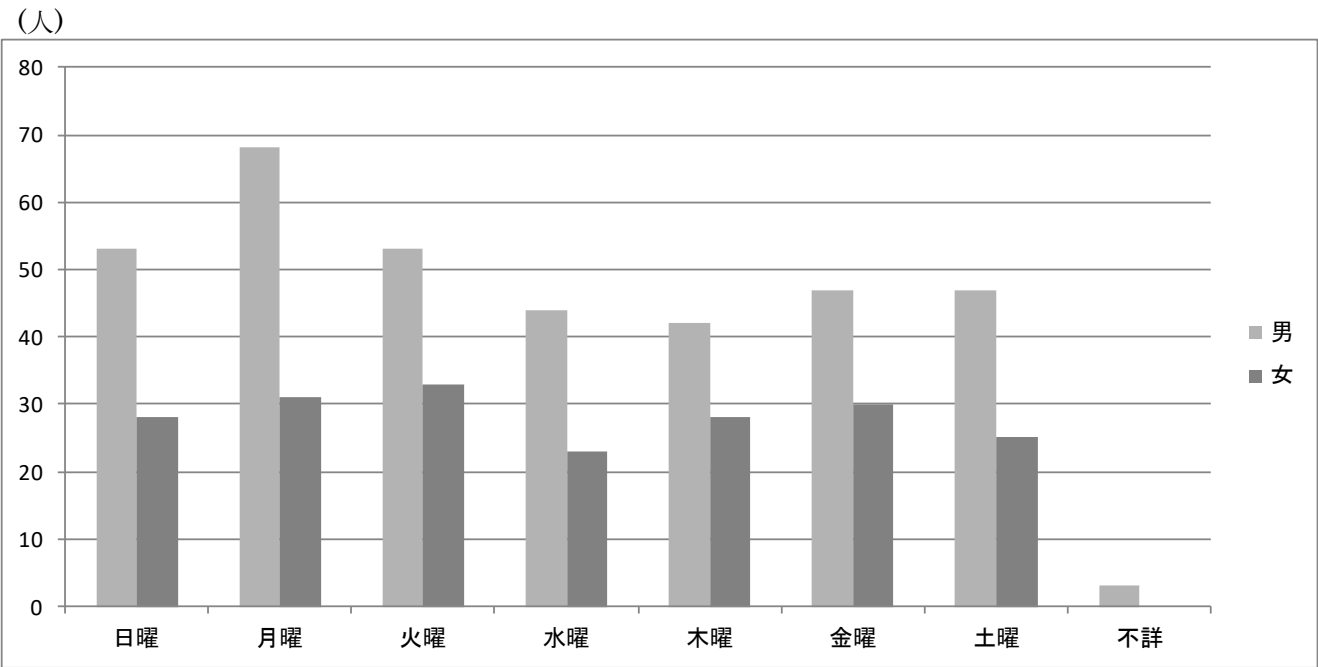
曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	不詳	計
計	2,791	3,400	3,067	3,059	2,936	2,916	2,529	959	21,657
男	1,828	2,334	2,087	2,083	1,977	1,938	1,693	785	14,725
女	963	1,066	980	976	959	978	836	174	6,932

12-2. 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

曜日別でみると、「月曜日」が99人（18%）と最も多く、次に「火曜日」、「日曜日」が多くなっている。

男女別でみると、男性は「月曜日」、「日曜日」及び「火曜日」の順に、女性は「火曜日」、「月曜日」、「金曜日」の順に多くなっている。

令和5年 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



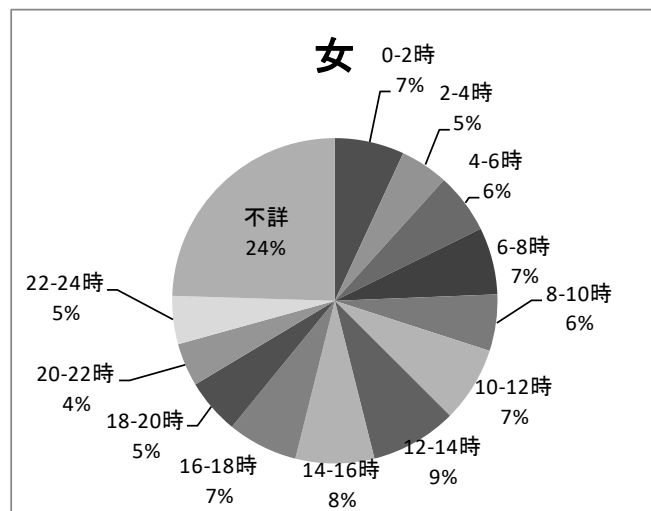
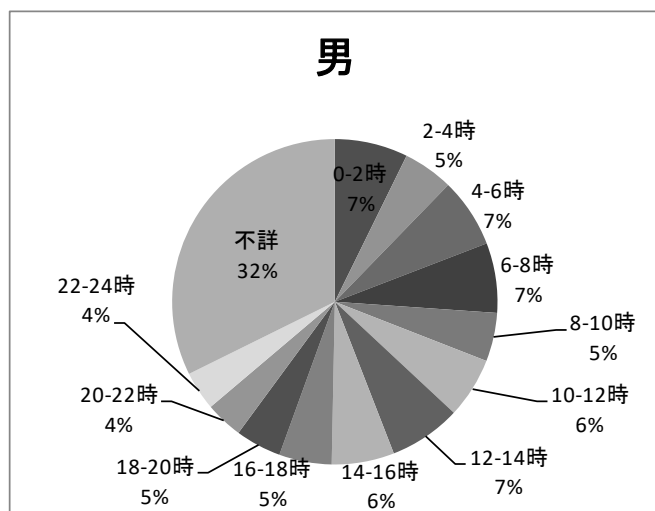
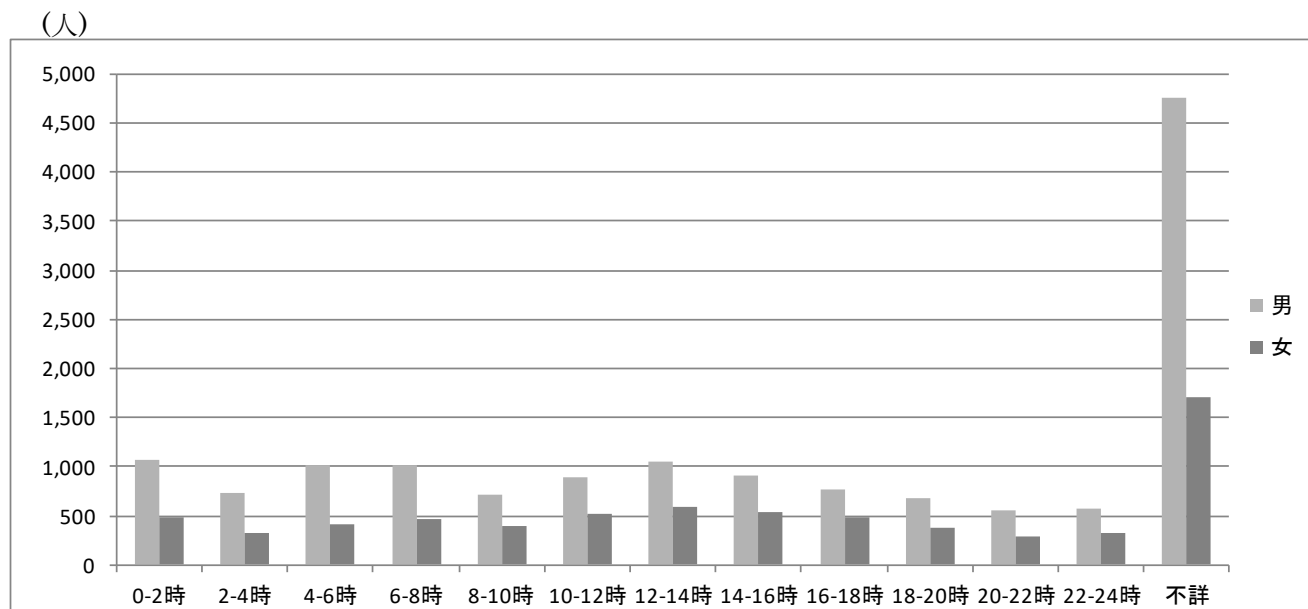
曜日別・男女別自殺者数

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	不詳	計
計	81	99	86	67	70	77	72	3	555
男	53	68	53	44	42	47	47	3	357
女	28	31	33	23	28	30	25	0	198

13- 1. 発見時間帯別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

自殺者を発見した時間帯別でみると、「12-14 時」が 1,649 人(7.6%)と最も多く、次いで「0-2 時」が 1,550 人(7.2%)となっている。男女別でみると、男性は「0-2 時」が 1,071 人 (7.3%)、女性は「12-14 時」が 596 人 (8.6%) と最も多くなっている。

令和5年 発見時間帯別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・全国



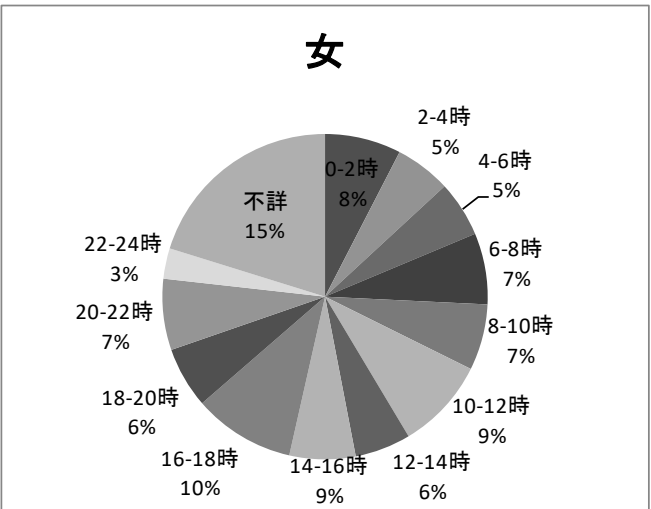
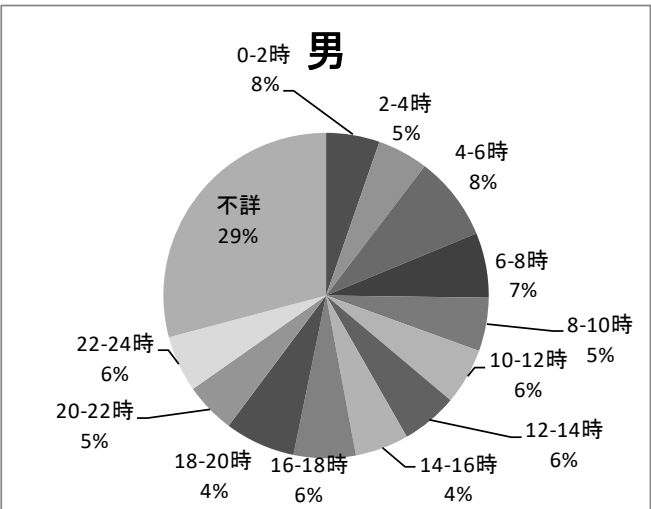
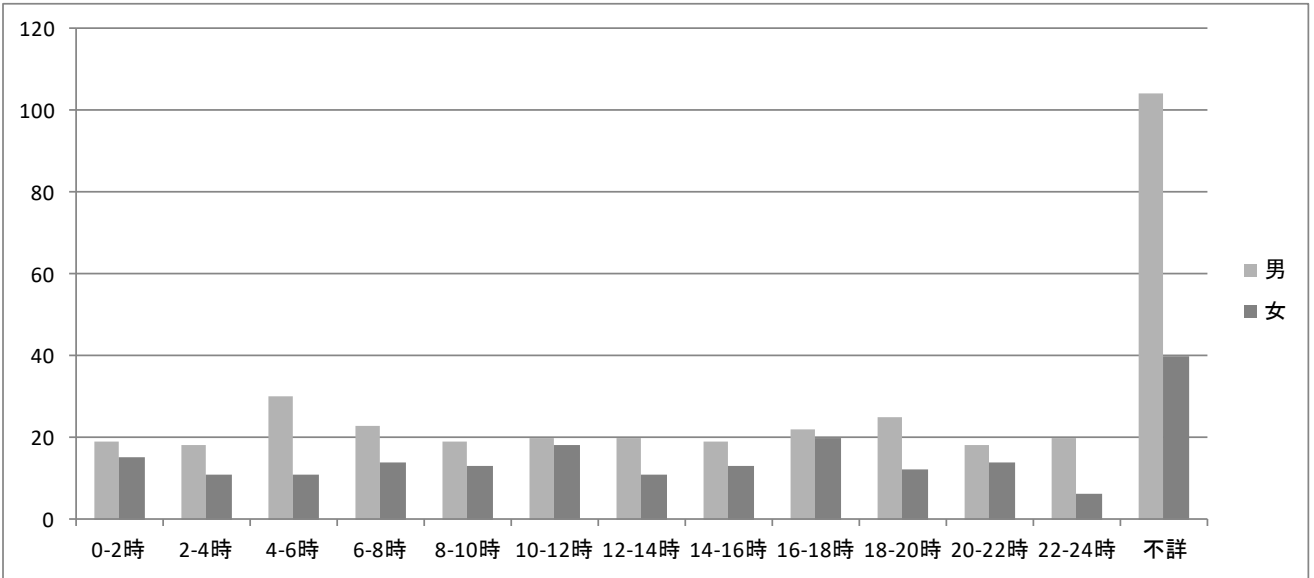
時間帯別・男女別

時間帯	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳	計
総数	1,550	1,067	1,431	1,483	1,100	1,407	1,649	1,458	1,255	1,052	847	902	6,456	21,657
男	1,071	735	1,015	1,021	711	887	1,053	915	770	671	549	570	4,757	14,725
女	479	332	416	462	389	520	596	543	485	381	298	332	1,699	6,932

13-2. 発見時間帯別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

自殺者を発見した時間帯別でみると、「16-18時」が42人(7.6%)と最も多く、次いで「4-6時」が41人(7.4%)となっている。男女別でみると、男性は「4-6時」が30人(8.4%)、女性は「16-18時」が20人(10.1%)と最も多くなっている。

令和5年 発見時間帯別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・大阪市
(人)



時間帯別・男女別

時間帯	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳	計
総数	34	29	41	37	32	38	31	32	42	37	32	26	144	555
男	19	18	30	23	19	20	20	19	22	25	18	20	104	357
女	15	11	11	14	13	18	11	13	20	12	14	6	40	198